

91  
10  
39

準貴

夫化元甲子年

義仲様御隠居迄

公義波御上  
苗

同九月申年十月迄

又化元甲子年

義物豫所隱居也

十九番

公義叔仲上

藏書印

統

因九主甲午年十月廿一日

文化元年甲子年

四月廿百松平加賀秋沙瀬分中右松野祥江邊山守掛  
沙瀬内同九月廿百返轉云々上

八月十日酒舟難出以秋沙瀬安西松野中右松野祥江邊山守掛  
沙瀬

九月廿百沙瀬同代以瀬分人高云々上

十月廿百代以瀬分大風雨創家小沙瀬青

日二乙丑

正月廿百官軍秋之西位少松野中右松野祥江邊山守掛  
沙瀬

二月廿百沙瀬女村系終沙瀬引越成時及沙瀬用  
沙瀬

三月廿百沙瀬同代以瀬分大風雨創家小沙瀬青  
沙瀬引越成時及沙瀬用  
沙瀬

三月十六日 朝鮮國王... 御封 賜布... 日廿日 御封... 日廿日 御封...

同廿二日 御封... 日廿六日 御封...

五月二日 御封... 六月十日 御封...

同十月 御封... 同廿六日 御封...

岩文 御封... 同廿七日 御封...

同廿七日 御封... 同廿七日 御封...

同廿七日 御封... 同廿七日 御封...

十一月十三日 御封... 十二月六日 御封...

同十七日 御封... 同十七日 御封...

同十七日 御封... 同十七日 御封...

同十七日 御封... 同十七日 御封...

同十七日 御封... 同十七日 御封...

同十七日 御封... 同十七日 御封...

同十七日 御封... 同十七日 御封...

同十七日 御封... 同十七日 御封...

同十七日 御封... 同十七日 御封...

國子中... 肥... 田... 代... 方... 進... 一... 進... 一... 國... 金... 子... 方... 志... 志...

同日了

七月十九日... 朝鮮... 京大... 地... 裴... 去... 一... 吊... 烟... 尾... 福... 志... 志...  
九月十八日... 中村... 久... 次... 少... 出... 疾... 守... 守...

二月十日... 海... 國... 出... 火... 山... 庫... 乞... 百... 彩... 肉... 之... 燒... 矢... 之... 守... 守...

三月十二日... 海... 國... 後... 南... 河... 火... 災... 守... 守...  
同日已

七月十二日... 有... 小... 之... 系... 之... 海... 島... 根... 山... 卒... 志... 守... 守... 守... 守... 守... 守...  
守... 守... 守... 守... 守... 守...

三月十日... 考... 行... 考... 我... 者... 日... 守... 守...  
同日十八日... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守...

九月廿日... 德... 堂... 人... 別... 改... 修... 志... 志... 志... 志... 志... 志... 志... 志... 志...  
守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守...

正月廿日... 國... 宗... 德... 堂... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守...  
守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守...

八月十日... 作... 東... 海... 德... 堂... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守...  
守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守...

九月十日... 曾... 德... 堂... 不... 勤... 山... 德... 堂... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守...  
同日十七日... 德... 堂... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守... 守...

守... 守...

十二月十六日 小島 島原 出 奈 河 原

同十九日 島原 分 物 石 山 道 与 吉 成 与 介 格 別 以  
之 長 卷 云 云 又 志 山 道 与 吉 成 与 介 格 別 以  
格 別 之 云 云 又 志 山 道 与 吉 成 与 介 格 別 以

日 壬 申

二月廿六日 岡 田 組 之 役 云 依 吉 成 与 介 格 別 以  
書 向 之 德 云 云 又 志 山 道 与 吉 成 与 介 格 別 以

六月十九日 薩 州 船 掛 解 上 海 兵 衛 中 御 之 由 申

但 十月 上 古 海 兵 衛 中 御 之 由 申

文化元甲子年

四月廿日

松平加賀与横河原下 石川 卯 本 吉 成

与 艘 胡 餅 之 波 漂 着 以 信 山 道 与 吉 成

河 案 内 云 作 上 兵 下 取 計 与 吉 成 圖 分

中 志 山 道 与 吉 成 与 介 格 別 以 志 山 道 与 吉 成

御 案 内 書 以 留 与 后 茂 度 次 在 矣 以 矣

以 用 人 格 于 矣 然 公 志 山 道 与 吉 成 取

朝鮮國京尚道蔚山府新興津  
上名日本船松五沼帆主人宗一號  
高二月女中自汶源名舟汶北同如  
中中舟名舟名舟名舟名舟

朝鮮國京尚道蔚山府新興津  
上名日本船松五沼帆主人宗一號  
高二月女中自汶源名舟汶北同如

松平如賀子願分石川郡本吉  
下舟中舟名舟名舟名舟名舟  
家來中紙對列列名舟名舟名舟  
食藏列舟名舟名舟名舟名舟  
舟名舟名舟名舟名舟名舟  
舟名舟名舟名舟名舟名舟  
舟名舟名舟名舟名舟名舟

二月十二日

柳名

△市之原長崎沙島

先母辰山先中

之

二月十三日

大川町之大川書院上

御名

就右沙願之松平加賀之領上

山田多右衛門

心子紙波

其出許極沙願之石川即本吉之

子人系一艘當二月廿七日

對馬島之沙用畜牧野備前守

列成之通法

其出許極者沙知各振之

是得也

對馬島中

新島田



四月廿日

宗對馬守

柴田九郎

柴田次郎

恒川七之侍松

岩田源左衛門松

大比連左衛門松

一平次郎 若々 長次郎 一平次郎

子八月十日

酒井雅永 左 沙美母光 別院 左 沙美母

右 沙美母書 法 左 沙美母書 法 左 沙美母書 法

牧野滿 前 右 柳 西 山 丸 附 安 友 對 馬 守 柳 口 持 兼

少 五 次 郎 右 為 山 清 丸 長 次 郎 右 為 山 清 丸

酒井雅永 母 今 十 日 卯 下 刻 死 云

母 方

叔 母

宗 對 馬 守

忌十日

八月十日  
同十九日

臘三十日

八月十日  
九月九日

右之通忌臘清中伴對馬島海國許江

一此在伴對此後私在右方沙屋中上下以上

宗對馬島内

八月十日

歲夜次在馬

右料紙おし切上二色岩紙

子  
九月五日

南月廿一日此等と 治之並に松平加賀守

沙彌分石川那本志と 長松と五帆之宗

之殿南二月廿一日胡野園景尚道蔚山内

筋真津と 源人從禮曹參議之書翰

右副從持國也後同五月廿一日對度夜

為書と身志と 治之並に遊子宗在大坂

河内守也右使と 治之並に遊子宗在大坂

右書翰と 治之並に遊子宗在大坂

河連狀也。能治用者之井。六炊頭。塔。苗。在  
築田。左。伸。抄。不。治。用。人。來。次。傳。言。即。掛。合  
之。全。以。不。抄。治。用。河。連。地。之。名。之。下。中  
之。後。身。子。孫。瑞。

大深。名。以。步。抄。之。抄。事。用。之。治。之。以。治。  
日。身。之。世。節。之。治。之。日。身。之。治。之。治。之。治。之。  
友。之。海。中。之。是。又。日。身。人。抄。合。之。全。

如。明。石。川。那。本。志。之。去。南。二。月。古。言。

胡。能。國。口。深。名。在。此。後。先。達。之。後。對。馬。言  
河。事。內。中。之。重。公。就。吏。右。深。人。抄。副。來。以  
從。胡。能。國。之。書。指。二。月。古。言。深。名。中。來  
非。身。於。對。州。於。言。吟。味。仕。以。深。人。二。月  
古。言。彼。國。筋。鼻。津。中。可。之。浦。口。口  
抄。取。想。之。古。言。浦。口。浦。入。以。身。胡。能。國  
部。之。漕。入。之。身。之。深。名。抄。之。深。名。  
可。子。達。子。孫。全。以。抄。能。收。人。古。言。抄。國  
地。抄。以。身。之。深。名。抄。之。抄。之。抄。之。抄。之。

源為之少得之官不對馬之役人有從  
進江上賊之由中少得之故之源為之  
其日抄事之身以方對馬之役人有從  
等也右書第百四回在二月十日之源為  
仕中之以總之二月十日之源為之  
至以事之在右之述下中之以方國海  
中款之乃此從中之以之

但料汝抄事初抄得為法傳之乃事也

### 町連狀古之通

一筆波語之非先達之町連内  
中之以加洲之川那本古之町不  
之如之入一被南二月十日朝鮮  
國景尚道蔚山之内朝鮮律事能  
波源為之彼國之多事之私家其  
之抄源去月十日對馬之役人有  
之吟味少事又列系之抄源之總言  
源為之述也之抄源大坂町之抄源  
使事抄源之抄源之從禮曹之抄源

東以書翰矣從胡館國漢人  
贈物目派漢人  
荷書具不物  
只書身  
書從來  
札書  
寫為伊披見  
為之  
張忌  
惶  
恐  
云

二月廿七日

之田采女正柳  
牧野備前守柳  
么井大炊頭柳

青山下野守柳

書翰 志心相

但仕之常之通四掛印

上書一行  
九之通

朝鮮國景尚道蔚山筋吳津  
漂着之加州本古漢人  
相副來  
從從禮曹  
系識之書翰

從朝鮮國漢人  
贈物目派寫

加州漢人... 加州漢人積荷... 加州漢人... 右行... 尤...

右甲冊一... 入仕...

從朝鮮國漢人... 加州漢人... 加州漢人... 加州漢人...

右... 出... 出... 出... 出...

先... 中... 景尚道...

波漂者彼國之產也其名家也  
波子月主日對及波到者位之  
以列系之沙雅人等也  
自余在大坂河也  
此後出先中  
中建

六月廿七日

如右

右村大寺  
如右

右身中領主松平  
志

波出波結  
景尚道蔚山  
漂者彼國  
子月十六日對

列系... 依... 使... 非... 以... 使... 者... 知... 得... 矣... 云... 云...

宗對馬前使君

中原將也

如... 人... 口... 上... 書... 每... 宗... 旨... 名... 藏... 附... 書... 行... 寫

他... 氏... 上... 書... 認... 事... 以... 下... 右... 同... 一

久... 延... 口... 上... 覺

我... 織... 松... 年... 如... 實... 方... 領... 石... 川... 那... 本... 者... 書... 拾... 子... 反... 帆... 居... 書... 以... 緝... 尾... 又... 葛... 沖... 身... 以... 書... 治... 所... 水... 史... 右... 子... 人... 宗... 去... 子... 八... 月... 下... 旬... 又... 葛... 實... 令... 穀... 物... 為... 積... 入... 本... 國... 本... 者... 出... 帆... 出... 相... 國... 本... 者... 中... 不... 同... 子... 九... 月... 下... 旬... 葛... 書... 在... 穀... 物... 積... 入... 長... 洲... 赤... 弓... 國... 志... 同... 月... 下... 旬... 本... 者... 出... 帆... 十... 月... 上... 旬... 能... 也... 國... 村... 本... 者... 浦... 中... 不... 同... 葛... 書... 在... 葛... 子... 二... 月... 九... 日... 右... 本... 者... 浦... 出... 帆... 任... 任... 南... 風... 洋... 者...





吾行於沙段之沙身之節如解人  
活語之語氣有之語之未終之文  
版家用白字亦之如無經有字  
自  
上書之 竹身回首 牛身浦出帆已對列  
依須奈 津國不智波 多如之九 津改書原  
回之日 津國不出帆 清景 數波 津改書原  
能白 中書浦 不名之 津國 所 矣 是 中  
於 不 水 木 莫 葉 亦 不 下 以 津 蔭 中 申  
浦 之 名 大 矣 又 在 此 心 經 有 法 答 亦 好 也

一 胡解人与不信行 高賣亦之 不任公 亦  
一 遊 遊 亦 尋 亦 得 貴 亦 史 亦 九 亦 仙 亦 無 任 亦 中 亦  
一 武 悉 人 合 限 淺 亦 亦 移 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
一 遊 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
一 便 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
一 我 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
一 源 流 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

新長連之寄所也

一 往東切之日之海遊沙等往東切之日之海

一 於朝鮮所設之標之為之途中也

一 國許出帆之日之月此東切之日之海

一 正月十日書裁有之の得る上之行の決り

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

右の遊沙等

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海

一 此の遊沙等其長の右切之日之海



少則標人積片。其具一務之品。古者言

實

一 糸之百九拾七盾

糾尾又為分

但中五年入

一 大至四拾式估

但中五年入

一 小至貳拾估

但中五年入

一 素麵 之拾估

但或貴之百八

一 丁淺拾貳頁文

一 文字浪貳百九拾八分

右張子之藏於胡胡人令浪亦之積積示

中以此子之造印等之私親之九心深意

之知十力善之子是中之首以年之

如胡胡少以中之在公也七之浪積入

居之相遠之印在

右積存物

主 去之艘  
長拾三寸或尺  
幅二寸

槽 去之本  
長拾三寸

帆 去之本

帆 去之本

回槽 去之本

中帆 去之本

回槽 去之本

智帆 去之本

竹弓 去之艘  
長四寸或六寸  
幅二尺或寸

楫 去之本

槽 七挺

也 三挺

浪 破六匹

帶 綢式席

回線也 大小二席

市皮 綢式席

回線也 大小二席

一 杉 經 寺 席  
 一 實 繩 之 席  
 一 弁 止 式 掛  
 一 藁 綯 之 席  
 一 口 子 步 二 ツ  
 一 柿 子 寺 換  
 一 澆 水 羊 寺 換  
 一 水 羊 之 本  
 一 去 汁 之 液

一 料 糸 植 寺  
 一 版 次 之  
 一 換 濁 六 小 四  
 一 洞 糸 灌 寺  
 一 小 泥 寺 換  
 一 鬚 寺 換  
 一 浴 寺 面  
 一 令 逃 寺 換  
 一 味 嚼 朽 寺 換

一 漬物桶 三換

一 水釜 式

一 小桶 之

一 多田子 式荷

一 小洗 式

一 照椀 式八和

一 茶碗 三

一 猪口 十

一 四 子投

一 多葉粉 庖丁 三換

一 庖丁 式換

一 斧 三換

一 山刀 三換

一 洗子 三換

一 道具箱 三

但行款入

右 器具 兵 什物 之分

脇 刀 三換



包 寺

書中第百寺

淡箱 寺

贊苑 寺

鏡 寺面

柳篋 寺

多白之 寺

右之書改名治部

包 寺

柳篋 寺

鏡 寺面

右之水史長

包 寺

柳篋 寺

右之水史新

包 寺

柳篋 寺

右之水史幼

右通書遠寄所歷公以之

五月十七日

水支中

加洲本志拾之五航  
形勢九年

普治師

百喪友之進極  
珍木之集焉極  
之花子物極  
夜木候平此極

書改

沙波人宛中極

加洲人書往來札書面之寫

書往來札

加洲本志詳至又為  
松子(平)系志渡渡海  
波往來以系於浦  
云吳波通之

享和四年

松平加賀守内

三月十一日 中村宅在

平

國

松平政和

朝鮮國禮曹參議尹

光顏

奉書

日本國對馬州太守拾遺平公 閣下

緬惟即辰

動靜冲裕慰想良深即接東萊府使馳報

貴國漂船壹隻今年二月二十六日來泊于景尚道蔚山魴魚津三月初二日移到

牛巖遣舌官問情則漂人伍名俱是

貴國加賀州居民興利次去年八月下旬離發本土九月上旬往于出羽州而白

米伍佰玖拾柒石大豆肆拾貳石小豆貳拾石素麩叁拾苞寬永通寶小錢壹  
佰貳拾兩等物載得同月下旬自同州發十月上旬到能登州今年二月初九日  
發同處欲向長門州之際猝值雲霧漂蕩大洋同月二十六日漂著于蔚山鮑  
魚津云云人命船隻幸得全保取考文引係是無疑各人等并資給衣糧順  
付歸船仍此委告統希

崇亮不備

甲子三月日

從朝鮮國之贈物目錄字

料米伍斗

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油伍合

白蛤鹽壹刀陸合柒分伍里

鹽壹刀陸合柒分伍里

甘醬貳刀伍合

甘藿拾叁兩叁錢貳分伍里

右者加賀州漂民伍名二月二十六日漂來蔚山  
鮐魚津三月初二日到泊牛巖自二月二十六日  
朝三月初一日夕至一五日分

甲子五月 日 訓導 陽元 玄判官

別差 敬天 玄判官

料米伍斗

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

鹽壹刀陸合

真油伍合

甘醬貳刀伍合

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

藿拾叁兩叁錢貳分伍里

際

甲子三月初二日

料米伍斗

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油伍合

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘藷拾叁兩叁錢貳分伍里

際

甲子三月初七日

料米伍斗

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油伍合

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甘藿拾叁兩叁錢貳分伍里

際

甲子三月十二日

料米伍斗

明太魚尾

真油伍合

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甘藿拾叁兩叁錢貳分伍里

際

甲子三月十七日



料米伍斗  
大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油伍合

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甲子三月二十二日

料米伍斗

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油伍合

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甘藷拾叁兩叁錢貳分伍里

自際

甲子三月二十七日

料米伍斗

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油五合 白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘藷拾叁兩叁錢貳分伍里

甘醬貳刀伍合

自際

甲子四月初三日

料米伍斗

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油伍合

鹽壹刀陸合柒夕伍里

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甘藿拾叁兩叁錢貳分伍里

際

料米伍斗

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油伍合

鹽壹刀陸合柒夕伍里

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甘藿拾叁兩叁錢貳分伍里

際

甲子四月十三日

料米伍斗

明太拾伍尾

大口魚貳尾半

真油伍合

鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甘藿拾叁兩叁錢貳分伍里

際

甲子四月十八日

料米伍斗

大口魚貳尾半

明太拾伍尾

真油伍合

鹽壹刀陸合柒夕伍里

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甘藿拾叁兩叁錢貳分伍里

大際

甲子四月二十三日

料米伍斗

明太拾伍尾

真油伍合

鹽壹刀陸合柒夕伍里

白蛤鹽壹刀陸合柒夕伍里

甘醬貳刀伍合

甘藿拾叁兩叁錢貳分伍里

大際

甲子四月二十八日

料米肆斗  
大口魚貳尾  
明太拾叁尾  
白蛤鹽壹刀叁合捌夕叁里  
鹽壹刀叁合捌夕叁里  
真油肆合  
甘醬貳刀

際

甲子五月初三日

白米叁石伍斗

白木伍疋

甲子五月 日 東萊

明太貳拾尾

乾柿壹貼

餅壹甌

酒壹瓶

際

甲子五月

日訓導

陽元

玄判官

別差

敬天

玄判官



昭公 瑞天 玄降官

甲子五日 日阿野 新天 玄降官

新

酢壹味

樽壹味

樽肆壹頭

事九月廿三日

高子年一法國人別度懷美八月

以之月内身名色以旅高の政大は内

許保信法と旅の意二月廿日と妻と長女

清岡田代子船中の人ら宛てて書す

通惟面は之信誠と旅の書面と

或は次女馬坊夫の別人様書す

下 信法と旅の書面と

下 信法と旅の書面と

子九月廿二日

尚子年、諸國人別改帳、八月九月  
迄、之内、並、正、以、根、家、以、改、大、法、同、付、  
神保、依、渡、多、根、以、去、二、月、廿、日、以、達、之、迄、以、付、  
清國、田、代、沙、願、多、人、以、實、改、十、成、年、以、  
之、通、帳、而、付、之、依、渡、多、根、以、以、田、多、以、  
或、夜、次、在、此、指、系、以、利、人、根、津、法、以、為、掛、合、  
以、以、以、以、依、渡、多、根、以、以、以、以、以、以、  
了、中、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、以、

對馬國上縣郡

一人數六子四人

尚子七月改  
七歲以上

内卷子百拾五人男

同武子八百拾九人女

同國中縣郡

一人數七子八百五拾八人

尚子七月改  
七歲以上

内西子拾九人男

同武子八百零拾九人女

肥前國基肄郡

一人數九子貳百人

尚子七月改  
七歲以上

内西子百五拾六人男

同西子百拾四人女

同國養父郡之内

一 人数卷子四百八拾六人

卷子七月改  
七歳以上

内子九百八拾三人男

同子五百五十一人女

人数合式万六千四百四拾八人

内卷子万二千七百七拾三人男

同卷子二千七百七拾七人女

清朱市地寺社順云沙摩帳

右名對馬國之縣郡下縣郡肥前國

基肄郡養父郡之同宗對馬守順分

男女人數書函之通沙摩帳以上

宗對馬書月

歲及次卷子

文化元甲子年九月

清勅立所

右科紙福材幅面

從紙目之及法紙表方取之裏ノ市ノ市ノ  
河上流是ノ市押之市代ニ市ノ細分ノ

右帳西并家之市書古名

但帳西ノ市ノ名方ノ市ノ表紙ニ市ノ市ノ  
代ノ紙ニ市書之

對馬國

肥前國

上縣郡  
下縣郡  
基詠郡  
養父郡

人數

宗對馬書內

數夜次第

右人言市國古ハ拾歲以上ノ人數市書  
市書任制ノ市數ノ市書ノ市通七歲以上  
市書

子九月廿二日

市國因代ノ市大坂家ノ市改市書ノ市

中來以何濟業內書浙兩判紙  
古德宗門改神保依渡與和出固古古  
歲夜次慶指系其志去法言書各改

一切支丹宗門後前之云憐念今以相改中作  
光年之作出濟法度書之經派相守  
私願中在之而之至之遂穿鑿宗中  
之者下之至之是又改命議以處不審  
厥者云涉歷作事

一願中在之而之家中之者下之又者之云  
若此以後不審而者於有力之也早建  
丁中達事

以之

文化元甲子正月六日

浙名神判

神保依渡與

之云因幡與

子月十八日

造殿并火身口改戸川大字振沙組  
同以子田庄海沙面多振小原相身  
中因之申取發部在伸乃信八  
中者大寺也。正指しぬ事夫比是處  
波多る多尤。之良取近とてし  
お少中口お遠し。正と在少。書下川谷  
及下等し候中。少し身相礼し。是  
也。言。下及方中入。立別在。書身

此箇与在景田左伸戸川格持示  
与力生約重在也。之。正。正。端。

神田橋本町福富左依。信。信。与。子。正。月  
正。抱。正。部。在。伸。乃。信。八。与。者。之。月。十。万。文。方  
波。多。る。多。尤。之。良。取。近。と。て。し  
事。人。波。多。る。多。尤。之。良。取。近。と。て。し  
波。多。る。多。尤。之。良。取。近。と。て。し  
波。多。る。多。尤。之。良。取。近。と。て。し  
中。の。波。多。る。多。尤。之。良。取。近。と。て。し

十月十八日

東村馬子  
與田左仲

子育冒

左之御唐古御日書之向采女正柳成苗之根  
葉田左仲抄下少九次山中二在處子金丸  
出少少少少少少少少少少少少少少少少少少

私願合肥京國其難表艾而部南  
八月九日酉刻  
大風雨烈爰風換任人果く左之通

少産

童社式宇

居家五拾式新

小屋既之拾式新

大小木子式百七拾式新

右之通吹倒之派注進中歌之身清景内

中之人馬修我子少産休田島損毛  
之儀之進与下中上之望

九月一日

清景



右料成天在者如上也

許名

子三月十二日

右之料成天在者如上也

或分中在者如上也

或分中在者如上也

肥市之用甚難出矣

一曰白子子八百九拾貳石

白甲万子子百九拾貳石

同白万子子百九拾貳石

右之市安秋洪水大風

任心也

十月

許名

右料成天在者如上也

文化二乙丑年

四月四日

去年之氣物之類皮品位不揃二分致上  
亦見合之計 極之明女目と云と外  
以竹寺た右幸之と三意ノ致之亦在門  
た之亦福書亦用表之井大物致極  
西水丸附安度對馬寺極之亦田寺極  
表度致たの持系之井極之亦極  
高之入也たの安度極之亦田源空極合

對馬守之重寒氣為伺御撤練以  
 使札獻上物仕の處船中お滞り候  
 傳者未多お着不仕の時新延門仕の傳  
 此後津浦申上云候

正月冒

宗對馬守  
 歳夜次卷

右科紙お書初の色紙

丑  
 二月廿二日

御居女梅山事 津島府系 系部  
 少し敷いあまのり候事 上野合  
 此方へ 津島府系 津島  
 津島へ 津島府系 津島府系  
 津島へ 津島府系 津島府系  
 津島へ 津島府系 津島府系  
 津島へ 津島府系 津島府系

行利牙多一年一法也國之也其為也  
之及也居之也然之也子牙大之也由書  
之用者喜之也下也之也也也也也也也  
梁田九伸抄本之也人之也也也也也也  
大也也也也也也也也也也也也也也  
之也也也也也也也也也也也也也也  
下也也也也也也也也也也也也也也  
之也也也也也也也也也也也也也也

二月廿六日  
御所札  
並直

先達白大炊御門大納言妹私縁組  
願之通也 治分重也身高五月  
之也也也也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也也也  
下也也也也也也也也也也也也也也

正月廿一日

御名

大料成大夫書中切上卷之五段成也書也  
御名

正月廿一日

朔解國主之弟經母氏正月十二日死也  
以受好生之角政事向松利勳等者之應  
大妃之毒制乃并吊慰度其後故也  
公義中御向之也也室廣也之也自來宮

大妃死去之也也成也之也生之所也  
之也之也也也也也也也也也也也也也  
大妃之有也也也也也也也也也也也也  
進也也也也也也也也也也也也也也也  
大料成大夫書中切上卷之五段成也書也  
御名

初鮮國王曾祖母喪正月葬之  
大妃薨去之喪制亦行之  
從私義而然之使若其後  
沙羅中之以以

二月十二日

宗對馬守

大辨明大寺大寺切之也

是別海軍中軍艦之長

之長少解深之也

之長

公義之少解深之也

之時之長

公也之少解深之也

之長之少解深之也

之長之少解深之也

之長之少解深之也

之長之少解深之也

取調口留書居幾夜平在為  
 沖城中口上抄示也後月組以法田  
 為子守及抄之者正以也、正抄法其家  
 儀与了法由

先達与中上

沖城內上連の造人抄書之間

一六尺指以之者造人

沖城內の上連の儀之由

沖城外の上連の儀之由

之之抄書

下馬の上連の儀之由

一草履抄是也通の上連の儀之由

抄書

古の通の上連の儀之由

抄書の儀之由

心は静かにし事

下馬の上り事

一 長袴の良否替掛き人控下中  
但侍人との長袴の良否替  
力持の良否替掛き事

下馬の上り事

一 法中守人の月式にお仕事人

公連の上り事

右の半女正極の坊上事  
右の通の御人の事

一 嫡子の上り事  
登

城の着書の上り事

一 仕舞の上り事



三  
五  
一  
二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

右之通  
日示以信達之語尤也

二月十日

度度

沖城門對馬守石連

人数

下馬

一人  
守役

他

一人  
侍  
草履取

他

一 走人

他身之...

長柄抄

一 走人

草履抄

一 走人

杖第抄

一 走人

駕之親之者

下 采中 抄之圖也

一 走人

刀書

一 走人

弓攷

他身之...

一 走人

草履抄

一 走人

長柄抄

他身之...

一 走人

草履抄

一 走人

杖第抄

他身之...

一 走人

供中同

他身之...



作之取心水級

仁宗曆三年九月十八日  
田代沙願分斗  
三斗五升  
積  
有之也  
此夜

去年日 徑坐作田細之儀前

之通以夜  
七斗  
此夜

宗對馬

三月十八日

後夜次

名料紙

廿二日

魚の朝鮮出米種大坂をわく賣掛  
有之は波の沙名舟左通也右岸田  
左伸一法用頼沙幼定事好中川  
先彈子依白抄示也用人掛合と名も  
沙名舟に成りてて歳名も好

朝鮮産米種之商人參遊砂之歳

必許公茂如浩は法外計數亦お記  
之交易中品は法外計數亦お記  
此下並に依て年頼公記

宗對馬

柴田左伸

二月廿日

朝鮮公貿易舟お陸取り米と物換り  
多しお陸取り米と物換り  
黄芥油也遠志遠砂口示し



世宗皇帝... 送水... 卷

三月

宗對馬... 卷

送水... 卷

荷北

東

大坂對列... 送水... 卷

表

上 朝鮮產河... 卷

送水... 卷

一 朝鮮產河... 卷

卷

古... 卷

山行谷道送客如伴

多事

月日

對別送客

送人  
河河果

大坂對別送客

河河果及

雲夜中送客

月日

一 鮮香河藥種 河橋行第佳

送客

右 通河屋河果日 雲夜中不覺

如遠如石 送派如伴

多事

月日

大坂對別送客

河河果及



丑四月廿一日

浙紹女極來月沙心下  
帝二月廿一日  
此序者  
無  
浙用者牧珩備  
治  
此  
也

此哥人而令此肉乞中一也入口而思其  
亦行一也好名矣一也一也一也一也一也  
以有古一也一也一也

對馬守上總祖長治守並上大炊御門  
大納言殿妹當五月申當比對馬守  
屋敷守以取以換仕方之致先達申上  
所聞屆下並非身右之積分京都  
登途之致故障有之通決之致急事

月内府名了任之積相成申作息与  
申上並上呼取之積月相遠仕上并所  
申上非右之事信宜之書所聞並  
下之果下非以之

宗對馬守内

幾度次在焉

四月廿八日

右料紙相之生切語上之包名據之書年包

世四月晦日

今日 沂水 女極沂者 對沂用番牧野  
備前 多柳西沂 九附 女友對馬 多柳 丘 丘  
丘 丘 書 山 多 居 案 田 丘 仲 持 系 山 氣 坎 丘  
氣 丘

一 眼 日 中 上 作 對 馬 多 丘 綠 泥 丘

作 對 意 作 大 坎 沂 門 大 洞 言 及 妹 今 日

沂 苗 地 丘 者 丘 作 以 辰 沙 鹿 中 丘 丘 泥 丘

案對馬多月

四月晦日

案田丘仲

名 科 紙 抄 甚 切 上 丘 氣 岩 坎

以 書 友 柳 丘 丘 一 眼 日 中 上 丘 丘 丘 文 字 丘

陰 丘 抄 德 丘

世五月晦日

沂 水 地 丘 者 丘 作 以 辰 沙 鹿 中 丘 丘 泥 丘

馬 苗 地 丘 者 丘 作 以 辰 沙 鹿 中 丘 丘 泥 丘

大端法塔心宜留長尺幾及改法為抄本  
掛公序心法抄法九如心法心法海

五月廿二日  
清江

私慶病氣少壯心身與妻中款

啟中是感君用佛法及抄本心法

五月廿二日

五月二日

清江

大料國中庚子年七月廿二日包出法家草包清江

五月廿七日

往度抄用抄本完中戶田宋女西柳  
左心清而書寺母無意為抄系抄月人  
回心更出心抄法心法

初解法度事務時法之廢來己年

抄本心法心法心法心法心法心法

可抄法心法心法心法心法心法心法

法心法心法心法心法心法心法心法

心

五月廿七日

御名

大御所中廣草子御名包書紙減草書包御名

丑六月十日

殿様道に御定に書仕に成言及二年

六月十日初日 御目見に書仕に月十日

子長月連に書仕と云ふ事

道に御定に書仕と云ふ事

南に御定に書仕と云ふ事

北に御定に書仕と云ふ事

下野に御定に書仕と云ふ事

近江に御定に書仕と云ふ事

子長

御名に御定に書仕と云ふ事

御名に御定に書仕と云ふ事

原音既  
伊通也  
城下有

私織河部等之山總武登  
城下度也其此後也同之狀也

六月十日

河部

七料成大事書若切上卷至治成中書色山若

南對島之族實政之快年六月十日  
初日清國見此也。日月十日と云々  
月並之山札束中と云々

義之書也此也

一 曰之書。〇二月圖許。〇三月山脈之書。  
輕解。河部向分。日十二中。〇三月山圖。  
五月分。日年。十二月。山脈之書。〇三月山圖。  
五月分。元角年。二月。山脈之書。〇三月山圖。  
〇三月山圖。〇三月山圖。〇三月山圖。  
〇三月山圖。〇三月山圖。〇三月山圖。  
〇三月山圖。〇三月山圖。〇三月山圖。

六月十七日  
初白鳥也

世  
六月十七日

松平右近將監松山實母充赤坂松山  
承之身大之沙由書此用書青上  
下野之欲而沙免所安友對鳥也欲也

松平右近將監母今十七日申上刻死去

母方

叔母

宗對鳥守

忌十日

六月十七日  
日女六日也

版三十日

六月十七日  
七月十七日也

右之通忌服請申之此後山石  
中上作之

六月十七日 宗對馬守

七料成天也書生切上包五法家山石

七月十九日

樋口英濃高死付左之由書所用番  
吉山十郎与柳西所九附安度對馬与柳

此為与后英及次在乃指与德光次日掛合  
卷之成法德光与之成与子海

私實叔父樋口英濃常五月十六日於  
國許死去此作家中之養子德重  
者身半減之忌服請申候

父方

叔父

宗對馬守



忘十日

五月十六日

同母丑日

服早音

五月十六日

七月二日

右之通沙府作尤忘之日教相之律付  
今十九日一日遠急仕作未忘申好也  
作得共此後沙府中上律以上

六月十九日

律若

與漢儀去成子律用代言律上人  
九之沙府書也也沙用書青山下野  
古門人如心言好是亦以反法掛合  
沙法大

樋口與漢

右於國許病死仕律然夫去成年  
私妾服之男子岩千代夫夫成沙府  
中上律節私若不急之儀成以

家督岩干代に云 仰付事下以柳井頼且  
代々朝鮮之仰儀儀云 仰付重  
所用節は月岩子代知少言不相候時去  
成人迄右頭懐氏江左儀由人之内  
南合所用云 仰付事下以柳井頼且云  
者月有候限法届上云云

二月十九日 仰告

如敷色大に事下如に徳上六也其儀多仰告

二月十八日

梅白雲流流次り 仰用候而右仰上儀  
以全に取去事下云 日帳有候事下人云  
は和原中事に候事下云 仰旨然儀云  
主候と及仰次仰事入 仰覺候と云  
去事下中事候云 仰旨然儀云  
由次事見力云 仰旨然儀云  
私事候事下云 仰旨然儀云  
候事下中事候云 仰旨然儀云

沙州以之者為父之  
 多也且父之胡解之  
 主之沙州節守之  
 極之也後長之  
 沙州以之沙州之  
 多之也父之胡解  
 主之沙州節守之  
 極之也後長之  
 沙州以之沙州之  
 多之也父之胡解  
 主之沙州節守之  
 極之也後長之

六月廿八日  
 齊名

右料身並女子物之類之六包  
 要為成事也也也齊名

丑七月女冒

明女冒日沙婚姻沙慈之義人多在沙中書  
沙用者收師一後多之秋一西沙在沙安度  
對馬之秋一也沙是若茶田左侍抄事也及以  
掛合之冬

私縁組之伴身之大炊門門大納言妹  
沙言比私屋卷之也及辛一分明女冒  
婚姻如卷中之也此沙在沙中上依之

七月女冒

沙名

七科成大吉者如初上包中諸成七者包寺者

丑十月七日

所國田代京大坂宗門沙改相備中  
中來小付沙葉内書也德宗門改神保  
佐渡之秋一也沙是若茶田九仲抄事也  
掛合之冬

一切支丹宗門徒輩之無懈怠今以相改  
中山元年之由出山所法度書之執亦  
相守私願中。去之不知之。遂窮罄  
家中之者。下之。至之。是又改令議以受  
不害成者。云。少度筆。  
一願中立之。不知家中之者。下之。又者。至之。  
以此以後。不害成者。於有之。者。早速  
可中。達事。

以上

文化元乙丑年十月七日

御名御兩判

神保依波之度  
之上因幡之度

廿七日十三日

山駕義基義儀合欠落以辰と業内以分  
たに以座書町治事以極岩肥前与以辰以治  
与与辰子代り志契た迹と為持来以辰次  
惣合以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰  
書以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰  
以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰  
以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰  
以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰  
以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰  
以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰  
以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰以辰

元由

宗對馬子足煙

生對列

長茂

當世武拾六集

右之五九日欠落仕非為後日  
少座中上作自以帳以紀以辰以辰以辰以  
以上

文化二乙丑年

宗對馬島

十月十三日

志賀大進

右料紙折、寸切上、色岩城

丑  
十二月六日

高子田代出候、田島早換色、此等  
古之趣、多調出、向之候、或及次、此等、申用、  
上并、大越、此等、持、上、此等、又、  
掛、合、此等、此等、此等、

組、近、此等、此等、此等、  
高子、此等、此等、此等、  
此等、此等、此等、此等、

肥前、向、此等、此等、

損毛之覺

一 田島之子百四拾四石五斗七升五合  
田島之武子百拾六石九斗八升五合  
田島之子百武拾七石五斗九升五合

右之申受早之損毛仕候以

十一月十日

御石

十二月十七日

一 此申白心候有

此ノ様申為帽子持方之旨候今日申言  
右ノ通之相山守名實度況在事  
亦城中ノ口持系之申様候之申也  
行内源之申及申之旨申之旨申之旨申  
与之候之旨申



對馬古監中... 馬帽子... 人教... 百連...

宗對馬古丙

三月十七日

歲夜次在...

古種成相...

文化之丙寅年

正月廿八日

去年三月廿五日... 御城内... 御城中... 獲法...

百身... 萬... 萬...

先達... 上... 對馬守... 裝米... 御城內... 不達... 供人... 教書...

下馬... 下... 乘...

一 太口持侍... 人... 上... 重... 通... 不達... 下... 尤... 乘... 山... 口... 番... 者... 也... 持... 以... 勝... 子... 次... 光... 々... 自

一 参月... 傘... 持... 人... 中... 上... 重... 通... 不達... 可... 中... 山... 々... 自

一 平日... 不達... 山... 草... 履... 持... 出... 好... 持... 以... 織... 不... 若... 々... 自

右... 戸... 田... 宋... 女... 正... 柳... 之... 以... 渡... 山... 村... 山... 朱... 山... 書... 面... 々... 也... 下... 山... 得... 之... 自... 右... 々... 介... 不... 達... 山... 人... 教... 之... 度... 々... 去... 々... 子... 十... 二... 月

正北渡道是又水口得丁  
正北渡道是又水口得丁  
正北渡道是又水口得丁

正北渡道是又水口得丁

正月廿八日

光度次在

宗對馬守年姑之節  
宗對馬守年姑之節  
宗對馬守年姑之節

下馬

侍六人

各口持以派侍之人

參月傘打之人

陸尺四人

按箱打武人

羊履取之人

羊履打之人

一供羊履反走人

雨天之節

一長柄抄走人

石人教之內言

下葉亦所行玄關前也

一侍之人

一羊履反走人

一羊履抄走人

一披箱抄走人

他中之所門外、疎葉也

一供羊履反走人

雨天之節

一長柄抄走人

右之通以來石連中、小、上

所君内

心月八日

或及次也

寅  
正月晦日

去廿九月十七日去子子國親之外  
去可及之付親子儀充國道作振  
別去廿三月廿八日所由中上  
以留子辰歲夜次在處  
留田忠意為及紫尚  
抄讀九作

去秋之  
外以夜歲肥前國領  
之高去可之子  
去可及之分  
子儀國道中作

宗對馬

正月晦日

歲夜次在處

名料紙抄

寅三月五日

今野沙之屋发造新焼三升左一沙田番  
或野之沙田番戸田末也柳西沙九野番  
野馬吉野台茂及野馬吉野沙田番  
野馬吉野沙田番

向柳原新屋屋发今野新焼三升左一  
沙田中之以也

三月五日

野名

向柳原新屋屋发今野新焼三升左一  
下屋发三升左一沙田中之以也

三月五日

野名

大野原大野原上之包野名

大野原之过者不焼失三升左一  
过者不焼三升左一沙田番  
以美大野原上之包野名

白柳系對鳥身辰感發、越番一少而於燒  
 法、之能香氣、水後、番人、之、能、中、心、守、候  
 沙、庫、中、之、空、也。

清春也

成及治在也

二月十日

本抄書本、之、切、上、之、包、頭、之、填、事、也。

實  
 三月十日

清用普、以、妙、牧、珎、備、前、所、錄、之、出、向、有、辰、幾、夜  
 次、在、考、系、上、出、用、人、而、云、在、之、以、同、書、也、考、之、以、  
 實、也、之、持、入、清、河、書、也、成、以、落、子、作、後、事、也、  
 一、好、物、非、系、及、日、以、出、也、之、行、在、向、人、事、也、之、處、  
 以、何、書、之、也、成、以、附、札、以、用、人、核、十、七、考、考、之、  
 清、派、之、通、

私、儀、以、度、也、服、也、成、下、作、分、也、同、之、也、

窓孔  
三馬勝  
德巴等勝  
人馬  
甘何非也

三月十日

清石

大科紙大書切上

冥四月廿七日

樋口左衛門家月夜首在馬  
下人  
之欠落山原宅  
中來山村左  
肥米  
抄系  
彼方



云 記号 根 指 系 以 帳 面 記 重 此 等  
中 山 院 書 庫 藏 書 山 院 之 帳 目 法 外 小 田 切 根  
指 系 以 火 次 日 掛 合 考 中 山 院 寫 字 田 之 考 也  
反 拜 心

宗對馬之家來

思木源廣云仕

茂在焉

生對列  
南冥二十歲

右 去 去 女 四 日 欠 落 仕 山 由 後 日 申 申 局

中 上 山 房 所 帳 以 記 重 一 山 山 山 上

文化之丙寅年

四月廿七日

所著

志願九魚志為

寅

七月九日

經 之 十 部 根 以 經 又 丹 波 之 根 涉 泉 根  
以 經 之 十 部 根 以 經 又 丹 波 之 根 涉 泉 根

以古為清用昔抄年伊是與柳西清此附  
書及對馬之柳日持系以次之也此清元  
之秋作之清也

堀三十部禮又丹波之事今九日午申刻  
死去

母方

叔母

宗對馬守

忌十日 七月九日  
日十八日

服二十日 七月九日  
八月九日

右之通忌後清中以對馬之儀園許在

之在作竹紙紙私在之也清而中之也

所名内

七月九日

幾度以在為

古料紙打也切上之也若堪

寅七月廿一日

是夜寅七月廿一日... 山池とる為由... 同夜也... 以實形... 与た... 於神... 小島... 物... 倉...

山池... 是夜... 倉... 物... 小島... 於神... 与た... 同夜也... 以實形... 同夜也... 以實形... 同夜也... 以實形...

生野川

寅寅七月廿一日

宗對馬

貞七

夜... 以上



又三列... 又三列... 又三列... 又三列... 又三列... 又三列... 又三列... 又三列... 又三列... 又三列...

對馬守... 對馬守... 對馬守... 對馬守... 對馬守... 對馬守... 對馬守... 對馬守... 對馬守... 對馬守...

中上

基督那

基督那... 基督那... 基督那... 基督那... 基督那... 基督那... 基督那... 基督那... 基督那... 基督那...

基肆於之也唱心也通用之信也

秋光村

重田村

赤川村

木山口町

白坂町

今河幸剛

赤坂町

今河高剛

田代町

大正のころ有米之牧村牧町言物也  
河津村の河津者別庄の物也  
今河幸剛

大正文部省

大正文部省の地籍調査別庄文部省  
拾村對馬の地籍調査

長楽寺村

長生寺町

右前文、因取枝村、枝町、与物、  
二、三、角、  
二、三、角、

右、通、津、為、三、分、中、上、以、上

清、香

八月廿八日

茂、後、津、在、島

右、新、島、水、上、島、上、二、角、

寅 九月廿八日

右、園、田、代、京、大、坂、宗、門、之、改、也、  
右、景、月、書、也、  
右、留、島、在、幾、度、及、津、島、  
法、九、書、也、

一 切、支、丹、宗、門、徒、者、  
七、八、年、  
私、領、中、  
法、九、書、也、

下、（？）とて不<sup>レ</sup>成<sup>レ</sup>金議<sup>レ</sup>を<sup>レ</sup>不<sup>レ</sup>成<sup>レ</sup>成者  
其<sup>レ</sup>所<sup>レ</sup>府<sup>レ</sup>事

一 領中を<sup>レ</sup>所<sup>レ</sup>家中<sup>レ</sup>者<sup>レ</sup>下<sup>レ</sup>又者<sup>レ</sup>を<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>  
若<sup>レ</sup>此<sup>レ</sup>後<sup>レ</sup>不<sup>レ</sup>害<sup>レ</sup>成者<sup>レ</sup>於<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>早<sup>レ</sup>速<sup>レ</sup>  
一<sup>レ</sup>下<sup>レ</sup>達<sup>レ</sup>事

以上

文化三丙寅年八月十日

河名河判

神保法渡<sup>レ</sup>後

少<sup>レ</sup>重<sup>レ</sup>式<sup>レ</sup>文<sup>レ</sup>補<sup>レ</sup>後

（？）  
（？）  
（？）

寅十月二日

去月廿八日諸國城諸所用米尚<sup>レ</sup>有<sup>レ</sup>る<sup>レ</sup>  
見<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>て去<sup>レ</sup>冬<sup>レ</sup>より南<sup>レ</sup>秋<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>り月<sup>レ</sup>代<sup>レ</sup>産<sup>レ</sup>  
以<sup>レ</sup>勘<sup>レ</sup>定<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>月<sup>レ</sup>諸<sup>レ</sup>者<sup>レ</sup>を<sup>レ</sup>城<sup>レ</sup>も<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>を<sup>レ</sup>御<sup>レ</sup>  
寛政元酉年一<sup>レ</sup>月<sup>レ</sup>仰<sup>レ</sup>出<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>諸<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>邑<sup>レ</sup>國<sup>レ</sup>米<sup>レ</sup>  
ふも見<sup>レ</sup>重<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>城<sup>レ</sup>も<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>去<sup>レ</sup>廿<sup>レ</sup>二<sup>レ</sup>月<sup>レ</sup>也<sup>レ</sup>  
仰<sup>レ</sup>出<sup>レ</sup>重<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>城<sup>レ</sup>も<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>去<sup>レ</sup>廿<sup>レ</sup>二<sup>レ</sup>月<sup>レ</sup>也<sup>レ</sup>  
仰<sup>レ</sup>出<sup>レ</sup>重<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>城<sup>レ</sup>も<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>去<sup>レ</sup>廿<sup>レ</sup>二<sup>レ</sup>月<sup>レ</sup>也<sup>レ</sup>  
仰<sup>レ</sup>出<sup>レ</sup>重<sup>レ</sup>以<sup>レ</sup>城<sup>レ</sup>も<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>り<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>去<sup>レ</sup>廿<sup>レ</sup>二<sup>レ</sup>月<sup>レ</sup>也<sup>レ</sup>



之儀を法國家の法方と母と法國家の  
法方と母との法依に在る書西を  
後考く母と法方との法依に在る書西を  
次在る大正後下と法依に在る書西を  
石寺八幡及掛合を法依に在る書西を  
以上を法依に在る書西を  
以上を法依に在る書西を

去月廿八日法國城詰法用米商討

有る法依に在る書西を  
法事科文書作達に對列する先  
右の法用米商討に對馬を  
肥前之内田代に寛政元百年  
作出の法依に在る書西を  
以上を法依に在る書西を  
以上を法依に在る書西を

十月廿六

法用米商討  
幾度次在る

寅  
十二月廿二日

當年四代田島捨言田代政令中  
支身大損毛也雖之儀現教令也  
三治之儀心也如中子之格別之見  
等也云々事加則中政也現於之在  
比原若也田島捨言及治也如田島  
備前之儀抄示也如田島捨言也  
田島捨言也

此年之內基肄甚矣而部  
損毛之儀也

一 田島四子五言田島捨言田代政令中  
田島四子五言田島捨言田代政令中  
田島四子五言田島捨言田代政令中

右之書是早等言損毛也

十二月廿二日

御名

古料紙大書書切記上包無底紙計名

寅十二月廿四日

先月廿八日沙米漕小德元德掛胡解  
南溪口掛語若及破雲山如先形九  
沙扁書以用者牧仲備前与快口信靈書集田  
九仲抄系以次口掛合若也山如家以信也  
儀与也

胡解國口若後至山子重一艘由德元月  
廿八日彼北出帆順風宜山對渡海至魚  
恒山南溪口口而掛若山若若大每風波  
烈教也取紫留將中一有溪口抄書  
破船使尔尤示然者測由命使也  
積前為之煮皆流失使以派沙葉內  
中上云也

十二月

日廿四

御名

古料紙大書書切記上包無底紙計名

中野月書目

宗田拾遺子家内改貞七  
十人として沙島城に  
沙原安之丞  
行橋中  
町田孝行  
左近衛  
佐々木  
竹下  
物示

宗田拾遺子家内改貞七  
沙原安之丞  
行橋中  
町田孝行  
左近衛  
佐々木  
竹下  
物示

宗對馬

宗田拾遺子家内改貞七

貞七

宗田拾遺子家内改貞七

宗田拾遺子家内改貞七  
沙原安之丞  
行橋中  
町田孝行  
左近衛  
佐々木  
竹下  
物示

文德丁卯年

清春

四月五日

志賀左馬

大料於中切上色

卯六月九日

昨夕盜賊方以改荒尾但馬与依同入溪田  
也尔郎以苗与居度度次左衛門小左卫門  
波西淡以多又當時之宿全助之中者此子也  
云捕以如出人是也少左衛門仲万也云云  
后内木録之入日多物淡也益及迹去以辰吟  
之之中出以亦右之通以哉書其人以自私意  
也侍也其根一常中守以守其以吟其左之通而調

少波中源越原画百五拾也

去寅四月中橋本町四丁目拾七番組人岩  
伏乞謝受判 与全助之中者多輪所宗對馬  
下屋爰口仲問事云云 抱重以云 同平 十月  
四日仲乃部屋既爰乞謝伏交代与上屋浦口  
引及身方款入之若为持也 以良於途中  
右歸之 与入方之 爰之 與之 持之

一松坂系横豊坊持入也

此代貳拾七下七重八毛

一同才之豊坊持入也

此代拾五也

一木崎才之部一第物也

此代拾五也

一淺七百七振文

此振七百七也

但殘左

一合志也

右之通若九之改並及少早速法乞書  
中是以此法乞書方より大早く代金と辨納  
仕度旨少預り別代金と云々其詞書序中  
後乞書中乞以依く此法中と作次上

宗一白

幾度次九為

六月

卯六月廿六

去九日及少重車以商時乞宿令助及此  
人宿法乞書の辨納お原居商人等と云々  
作以法乞書より中乞以

此言棟の茂る水は重去此を乞以依盜賊  
乞力末村隆助の中末依九之通書手  
出留乞居幾度次九為の減添と隆助  
乞以書持也

頃日中之重非人全物及近之亦人宿法其  
代令辨納也厚身貴人亦之厥之室法之也  
其免之重中之信也此中之收以之

六月廿六日

宋一内  
幾度次九為

丁卯七月十九日

朝鮮國大妃薨去之吊慰返旒一箱以之  
作付以連狀也派所用裝以年伊是也  
沙而也名崇田丸仲一持系云用人掛合  
是也去返旒以之上一書在之通

朝鮮國大妃薨去之吊慰中遣作付後禮曹表議之返翰并別幅



御書雙返翰寫并和解

朝鮮國禮曹大人 閣下

不意 孤惟 太平 能 平 是 也

貴國 出 遣 丁 丑 四 月 日

大妃奄忽升遐隣好之際不勝驚愕伏惟

國王殿下

純孝精誠辟踊無已又想

官僚悲慟庶民哀慕曷有其極

朝鮮國禮曹大人 閣下

仍遣橘尚行用申

吊禮聊具

賻儀統希

鑒領肅此不備

文化二年乙丑四月 日

對馬州太守拾遺平 義功

陳

卓壹脚

燭臺壹箇

華瓶壹箇

香爐壹箇

蠟燭壹佰挺

沈香貳觔

高宮細布拾伍端

計

文化二年乙丑四月 日

對馬州太守拾遺平

義功

本款...

...

...

...

人參參劬

虎皮貳張

白草布拾匹

黑麻布柒匹

白木綿貳拾匹

花席拾張

四張付油芘參部

黃毛筆肆拾柄

真墨肆拾笏

白際絲綉計也

乙丑年閏六月 日

白帶計也

禮曹參議金箕象

入參參明

日本國對馬州太守拾遺平公閣下

日本國對馬州太守拾遺平公閣下

皇天降割

大母禮陟中外普勤攀號莫遠茲

勤專价遠致

唁慰悲感之極良荷

厚誼

賻儀謹卽

啓納別幅庸仲回敬統希

照亮肅此不備

乙丑年閏六月 日

禮曹參議金箕象

一 吊慰使持渡所書契和文

大妃薨去之由善之警之入之推

國王沙愁傷并臣民哀痛之從

之推系作係之為沙吊初使者

檄尚所並渡別錄之函結物書備

不候

四月日

返稿和解

大冊其去。分爲沙吊。祠沙使札  
封。禮儀。送別。致。禮。細。以。此。爲  
別。錄。之。通。致。進。後。之。以。不。備

六月日

卯九月十八日

左之沙看書町。信。事。所。小。田。物。去。信。事。所。在。也。  
出。尚。守。在。代。平。田。至。其。所。持。系。沙。用。人。  
掛。合。其。處。作。廣。其。成。沙。請。友。該。方。之。以。  
書。分。之。通。之。和。後。沙。同。及。根。居。記。兼。其。在。  
持。系。沙。通。沙。禮。面。也。記。之。以。得。之。此。方。之。  
中。之。後。其。在。之。也。以。和。之。以。議。之。以。法。友。  
根。居。和。之。持。系。沙。用。人。也。掛。合。其。處。以。廣。  
寫。留。之。以。其。在。也。

宗對馬守宗

為卯二十三歲

中村久次郎

右京沙苗地 正長正 惟慶去十月日 彼出奔

為後日 沙苗中 上作百沙 惟慶 沙就正

丁卯年 正

文化四年 宗一日

九月十八日

平田宗重

右料身右ノ物止包岩峰

卯十月十二日

濟國田代京大坂宗門改相 濟國改

中來以背 法案內書 抄認宗門 法改

神保依 渡与 浪止 占向 与 岳 裁 度 次 在 門

持 泰 四 礼 次 惣 念 良 出 法 礼 書 取 由

一切支丹宗門 改前 無懈 急 令 以 相 改

中 作 光 年 改 以 出 浪 法 度 書 之 執

亦 相 守 弘 願 中 在 丁 所 之 正 近 庭 穿 數





宗對馬島

生對列  
高印三輪

清人志

右之去月海日欠之居仕力法日法不  
中といふ沙後之沙記並了了上

文化四丁

宗一也

十二月

渡邊十郎

右折渡おま切とて色も法

卯十二月十八日

高心田氏田畠捨る田氏汝中我  
然更と或る平とて度とて洪水と隣國た  
彩菱捨るも多しと右折色も在  
度現捨る千石お捨る法と在通  
口平とて田と右と法同在伸沙日司書  
牧野清名と法と捨るも法と在通  
口平とて田と右と法同在伸沙日司書

肥前了月基舞出表又与部

損毛之漫人

一田畠八千三百三拾石八斗三升余

内田方五千九百六拾石八斗三升余

同畠方五千三百七拾石三斗三升余

右于西六月上旬雨降後出水三田畠

下七砂入、氣候後不潤、有、田株

右于中、自畠作、至時、以、其後

、上八月上旬、後洪水出損、毛、比、

以上

十月 日

御 名

右新渡大七也七也知と七色七也渡渡

文化五成序

二月十日

中國去十二月十六日曉失侍屋爰足野町家  
等五五五五五五五五五五五五五五五五五  
燒死五五五五五五五五五五五五五五五五五  
惟嚴百朝肉之燒矣五五五五五五五五五五五  
中園口得九今程信及朱得清用家法及後  
中事一五五五五五五五五五五五五五五五五

法橋寺法田守長樂田友伸持系山用人  
掛合右之類述内同反計一善長之儀書之  
成之儀与之儀

對列府中昨十六日曉世刻出火侍屋爰  
足野町屋等之自想家敷七指之致燒矣  
其初火法男子多人燒死仕作各別之  
火災之由之得夫今初信使來稱法田家  
少及後之志事一其法田中之乞火災之

場系右所用家近可之由之少所人此後  
中之儀之

十二月十七日

御名

右料紙大奉書生切之乞之儀紙

三月十三日

濟國正月廿二日漢南町住居町人龜屋  
 善之傳居宅之屋出火漢南町國寺町  
 十日南水町大町掛惣家敷貳百貳軒  
 燒失之屋中束素燒失百軒之紙之傳之  
 法屋之作上作先形分取之法屋書  
 法用表抄年修至之秋日法留之在哉後  
 次之寫持系法為以掛合之在名燒失

場和重者迫色之與束聘之其專法也  
 為之場和分束聘所用掛牧野後之秋也  
 之作上作方之九計取之書面法掛也  
 次之寫持系之用人掛合之在名何也哉  
 之或法也屋之儀也

對列府中燒失之覺

一侍家

七軒

- 一 定煙小人家
- 一 町家
- 一 土蔵
- 一 小屋
- 一 番家

- 貳拾貳軒
- 百六拾軒
- 四軒
- 七軒
- 貳軒

右之町家二日未刻出火惣軒數貳百  
 貳軒被燒失成下刻火徳人馬怪我  
 在法座公此後亦廟中上作以了

正月廿三日

御石

此後對列府中一火災之後法座用蓋  
 別紙之通亦廟中上公執事信使來聘  
 法座設亦用家之儀之別案等之儀  
 右燒失之場而之書者進色之有之近日  
 東聘之節專下之用使手為之場而  
 法座之儀別紙之家教燒失仕殊町家  
 漸之衰微之儀法座之儀之書之速家  
 漸成衰微亦中或可之儀亦好為  
 亦在廟之儀亦法座之儀之書之用使

製又... 之儀... 今...  
所用場... 上... 可...  
... 作... 上

正月廿三日

御名

右料紙大... 書... 切上... 包... 漢紙

夜  
十月廿日

御國田... 改宗... 改... 改... 改...  
... 改... 改... 改... 改...  
... 改... 改... 改... 改...

一 切... 改宗... 改... 改... 改...  
... 改... 改... 改... 改...  
... 改... 改... 改... 改...  
... 改... 改... 改... 改...  
... 改... 改... 改... 改...



以此後不審候、  
於方々、  
早建可申違事、

以上

文化五年八月十日

御名御判

兼永遠口官後  
有田播磨守後

原  
十月廿日

八月廿五日  
正月十日  
以松  
以洞  
津城  
相見



肥前、山、基、隸、表、文、由、郡  
損、毛、之、寬、

一 田、畠、之、子、八、百、六、拾、九、石、九、斗、

内、田、子、之、子、貳、百、五、拾、七、石、九、斗、

同、畠、子、六、百、拾、貳、石、

右、表、苗、麥、早、打、後、粘、之、出、水、後、有、  
作、号、与、換、毛、仕、作、以、之、

十、月、日、分、

御、名、

肥、前、已、

甲、子、百、

右、料、紙、大、背、書、半、切、之、認、之、六、色、若、濃、紙、  
御、名、

秋、田、中、務、左、中、國、左、右、水、主、之、身、左、  
沙、伊、書、沙、田、田、書、主、心、下、地、主、以、由、右、  
書、及、對、馬、書、主、心、口、田、書、主、心、田、書、  
抄、系、之、以、以、之、合、之、各、主、之、以、以、之、

秋田中務奉 昨十日亥刻刻

每石

浪声

宗對馬守

忘三日

四月廿日  
同廿二日

辰七日

四月廿日  
同廿六日

方通 忘辰七日 對馬守 成國守  
つれづれと 浪声 昨十日亥刻刻

四月廿日

成國守 仲

己未月十二日

小笠原守 辰七日 浪声 昨十日亥刻刻  
沖用 畜牧 野備 前守 辰七日 浪声 昨十日亥刻刻  
對馬守 辰七日 浪声 昨十日亥刻刻  
成國守 仲 持 參

佐渡守 嫡子 小笠原守 辰七日 浪声 昨十日亥刻刻

未刻刻

如方  
張中

宗對馬島

忌三日

七月十三日

後七日

同十四日  
七月十三日  
同十九日

右之通忌後清中ノ對馬島國許ノ  
私在之世後清中ノ上ノ以上

七月十日

所着  
葉田左仲

右料家ノ中切上ノ色ノ其後後

己十月朔日

中國史ノ東ノ坂宗ノ門ノ改相探ノ後ノ事ヲ

以書ノ書ノ史ノ宗ノ門ノ改相探ノ後ノ事ヲ

以書ノ書ノ史ノ宗ノ門ノ改相探ノ後ノ事ヲ

五歸

一 雙丹宗ノ門ノ從名ノ之ノ事ヲ總志ノ今ノ以相改ノ中ノ作

史ノ年ノ之ノ宗ノ門ノ改相探ノ後ノ事ヲ

史ノ年ノ之ノ宗ノ門ノ改相探ノ後ノ事ヲ

皇文代會議筆多し不審成者多し  
一 胸中多し不審成者多し又者多し  
其以後不審成者多し早速可也

以上

文政六年八月十八日

新刊西判

糸原遠江守  
有田播磨守

己十二月十日

前々々々々々々々々々々々々々々々  
書云云云云云云云云云云云云  
書云云云云云云云云云云云云  
作らば其の其の其の其の其の  
有之云々云々云々云々云々云々  
お務り云々云々云々云々云々云々  
此達は其の其の其の其の其の

此係... 通... 漢... 紙... 帳...  
書載... 白... 大... 同... 中... 川... 飛... 彈... 与... 紙...  
古... 尚... 与... 紙... 幾... 夜... 次... 在... 門... 持... 承... 法... 用... 人... 漸... 尾...  
誰... 依... 掛... 合... 之... 處... 惟... 似... 以... 清... 况... 亦... 誠... 之... 故... 焉...  
水... 波...

考以... 與... 奇... 特... 者... 之... 書... 符... 号...

宗對馬... 幾夜次丸書

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

宗對馬島領分

對馬國府中國町

町人松之丞師

法尾

苗已  
四拾七畧

右法也識人伯父長右馬  
事者口考意相務  
惟執町役人主  
神公作村  
此作長又長右馬  
松之丞身口同相仕  
此是長之長右馬  
相領也



松之公之幼少因竊者身許也日之計採薪  
家内之字無作中台兵憲(着為)字忘切  
元板平事(以)狀至貞心(以)指孝意(以)  
言(以)道云(以)所(以)實政(以)甲寅(以)八月  
為(以)復(以)災(以)米(以)五(以)德(以)意(以)中(以)心(以)

同人頌合

對馬國之根河志多賀村

百姓 九八

昌比五反拾五反

同人贊

花柳

名九八花柳與人其負美成者為孝心(以)純  
村(以)方(以)之(以)誦(以)出(以)以(以)身(以)也(以)凡(以)品(以)九(以)八(以)儉(以)父(以)母(以)孝(以)意(以)  
吾(以)一(以)貧(以)中(以)之(以)每(以)食(以)字(以)惡(以)心(以)之(以)身(以)也(以)善(以)以  
既(以)之(以)親(以)也(以)八(以)拾(以)米(以)之(以)越(以)一(以)也(以)京(以)花(以)柳(以)儉(以)家  
孝(以)心(以)厚(以)之(以)妻(以)子(以)况(以)身(以)親(以)也(以)之(以)哉(以)睦(以)友(以)竟(以)  
少(以)之(以)云(以)系(以)年(以)後(以)云(以)行(以)也(以)哉(以)孝(以)心(以)道(以)云(以)所(以)

惟是寬政九丁巳年十二月為慶賀本佛文元  
茲也中ハ名花賜儀同年十月杳中ハ

同人願分

對馬國若海守古里村

百姓

昌統四友九款五友

興之節

苗己露二葉

名興之節儀貞美成者為孝心為特之紙

村方之河公惟舟也凡此年素與親之孝表  
之也一之港村之例士比田務忠志為家内  
多人致刺疾相類惡為儀幸清家親親  
逆後如入可致福之事惟此興之節儀兼  
忠志為可及彼之如長日恩儀之可忘為家内  
四拾日經引切也誠為人少抱之素知仕事  
之儀起之儀一也孝心為特也遠也  
寬政十戌年年十二月杳中ハ名花賜儀同年十月杳中ハ

同人偕命

對馬國興島竹炭村

百姓

昌氏妻氏武畝二十家

竹松

名竹松織負美成者為孝心之純村方之  
出公作舟此惟如善每八拾六家之成業  
甚且母曰孝者如也一也竹松子去拾二家  
四氣之四人自之述四人之子在去去之述

祀陰和類妻之去妻比之大高和類今令快  
可至竹松之人自育方者為示之云寸深養化  
令不和成食地之固之始時之日應為之也之續  
浪之而和育之極難至作中一也老母之善事  
心之舟并美和為成得以前之為人幼少者之  
善也也之老母之如與德是孝心如遠云少產  
作舟寬政十武庚申之四月為養其妻武儀  
英例方取之報之月百家之善也之老母之  
享和武成平九月和事之作

同人頌分

對馬國豐後郡西地村

百姓

昌比四反六反

若四節

高乙四十八葉

右若四節儀負美成者与孝心之執村者  
海心作舟也凡此常之与親之孝表之也  
母盲目之目之明之作如以預之有老母之  
付以對列中之神法之義論仕孝心也遠云

所所以舟寬政十武庚申乙六月廿九日  
西費文若也中乙

同人頌分

對馬國興善之田村

仁壽持子

何是經仁壽持

昌比二反五反拾五反

若

高乙四十八葉

右若四節儀負美成者与孝心之執村者

誰念作才如此作如个福老母之引法如育病  
誰母元來仁之場父源七事者之妻与才引  
如生之之離縁之成作才引之連之公純縁仕  
之家之將之引之引之引之引之引之引之引之  
如之支病死後才引離縁之逢之得之事母子  
引家仕似合之知作或之山海之持日之云云  
如之氣長幸之此母子之如如之在附有之村  
海人之之如如之如如之如如之如如之如如之  
作之難儀之好之何合母一生去之身之引政縁

如育之夜覺活之次一母儀極光之及作身之  
如一之或若乃之不掛懸之成言一之引之法事  
慈心之付元板考心如遠之云所應作才寬政  
十八庚申之十二月為慶賀其子儀若也

同人備合

對馬公府中國分町

町人衣助縁

娘急川

壬戌子三月九日

右忠川儀貞美成者為孝心奇特之純  
町沼人古河公作其死以氣力助死後  
母子之在極難之解與子品作中古去子  
以東母大為相煩之親親因隨行海濱  
老婦幼年一男子云試人申儀之誠心之  
同知古老婦云我病相煩者為子入心之  
忠川儀貞美成者為人一人相抱海濱之  
其子之極難之養方之少之百之似合之  
質仕事亦云以相凌相系彼化緣作之者

由人之介抱之素日之之為不其作之付  
如意之緣法成有之山乃之儀之難難  
中古者為方人之不掛去美之其極孝心  
奇特相遠云古所以付享和試之成年五月  
力復矣其五法之也中作名忠川儀文化元  
甲子之四月相果中人

同人傳合

對馬國豆殿之豆殿村

云云

百姓

伏市

卷乙六十二

右伏市儀貞美成者与孝慈一甄村海人  
洲公作舟也凡此年素父母之孝甚厚  
七十年前以前之父母眼盲如煖盲自同松  
作舟之孝者表也成一小海之働出入也  
鳥之核煖之伺以食事也志之利与心之舟相  
先年母之難也子同成妻子之成難也

云書与前燭又中中一孝者  
孝者武人之子信之成海切也  
後書也遠也如高力也成山抹成也得改也  
少一云云會者慈也育吳者慈也遠也  
作舟也知之矣矣也七月月為成美也師之文  
也也也

同人胸分

對馬出府中々

町人

忠名

苗乙三十九卷

右忠名儀貞美成者高孝心多持之純町人  
海公作舟也此年素老母曰孝名是孝老母儀  
七拾歳之及以年加心也母之此心多持之切  
死後之也先年死後流竹之時町内死後  
相煩作者之惡心也持合之業物等也與家  
内人少之方之醫所送之也此也其格別之

貧家之見德也或彼一其忠名儀貞美成  
者高賣心物之身与家心得之正路也孝名  
多持也遠云少所也文化元年十一月  
後其多同也其文也此也

町人備合

對馬中府中町

町人名三郎將

其方五郎

苗乙三十三卷



右等五節 誠實美成之の事 孝心之純 町奉行  
河出作舟 此以無幼少之時 母之養 父子在  
漸之日 抹之 此意 正極 困窮 中人 並之  
儀 成 不 成 之 中 不 之 幼 少 之 能 之 辨  
常 子 是 此 義 以 故 父 日 抹 之 留 之 終 白  
病 之 此 之 父 時 時 之 會 物 心 之 身 之 也  
給 成 長 之 池 是 歎 之 艱 苦 之 成 不 成 日 抹  
之 誠 切 之 父 之 之 月 之 定 者 之 意 之 身 之 去  
見 苦 浦 新 之 故 之 父 之 之 義 之 去 之 意 之 之 義 之 吳  
新 事 親 之 親 之 背 作 事 之 竟 之 之 之 孝 心  
抄 遠 云 山 座 作 舟 文 化 武 乙 世 年 九 月 為 慶 災  
米 子 儀 義 之 作

同人順介

對馬國豐後郡舟志村

百姓

島尻屋八郎武拾六郎

清次郎

南己三拾八郎



云之妻子心同松之心得。或作舟家内  
和順。有之世業。外久志。免一。と。可。結  
作。与。地。公。以。仕。孝。心。お。遠。云。少。原。以。舟。文化。四  
了。卯。子。十。月。の。儀。矣。多。同。七。貴。文。意。也。と。云

同人順分

對馬國一重村

百姓衣八娘

衣八持言

昌比七友九叔之友

昌比七友九叔之友

右にく織貞美成との高孝意。海村海合  
海公作舟お礼。以。品。拾。四。集。之。時。母。之。難。色  
幼少く。舟。妹。お。人。有。之。父。衣。八。娘。妻。と。成  
不。お。没。救。拾。之。云。海。船。子。帰。り。お。お。勤。心。を  
備。之。右。に。く。心。掛。厚。毎。朝。奉。の。記。款。を。鵜  
崎。と。家。事。一。と。高。と。多。力。年。長。作。得。之。之。所。成  
只。心。掛。既。之。試。拾。之。舟。作。孝。道。お。奉。一。と。事。の  
幼少く。舟。妹。と。意。之。介。抱。お。育。之。孝。意。お。遠  
云。少。原。作。舟。文化。四。了。卯。子。十。月。の。儀。矣

本綿之文書

同人傳令

對馬國伊予郡見村

百姓兵七萬七千

兵七萬七千

昌統七及九畝拾

志付

高己軍四萬

右志付儀貞新考書成者之魏村海人  
海公作舟中凡惟如兵七萬七千

極光之事以常之終又心之舟中感念  
其月別而海切之令一年素家内之者  
能安親親之志と格別之切と令一年  
考書抄遠云少所惟舟文化五成版  
十月  
力徳之兵本綿之文書

右之通少所惟舟

文化六己年十二月

宗對馬之部

後夜次九

九之通 某書之袋入之

考以并刻特者之書付

宗對馬之書

或夜次九書

乙  
二月廿日

萬年一尺代日昌捨高尺代  
非處為一志大分捨高之或  
別現之高一尺一尺一尺一尺  
書在望田右仲一尺用書去  
持系以尺次掛合尺尺尺尺  
之尺一尺一尺一尺一尺

肥前之日願分是赫書文

支那指毛之覺

一 田島の子百換九石九斗一三斗系

内田の子百換之石六斗六斗系

同島の子百換之石三斗一七斗系

右志為裝早魁打續之之也

對等之損色仕非以上

十月 日付部

所名

右料紙大書書切之恐上包其張紙 所名

己  
正月廿八日

明後日雪外、作更沖國使等、寒氣  
就上難於成候、此、對左、法布書  
所用當青山下野、候、口、田島、居  
或夜次、在馬、持、糸、口、氣、次、掛、合、口、口  
作更、或、成、法、之、名、子、口、口、候、口、口、口、口

對馬、口、口、寒氣、為、何、沖、機、嫌

使札之似秋上物仕以交和申如婦  
使者未到者亦仕候時節也門仕符  
此後沙在申上作以止

七月廿八日

所名内  
茂夜決在焉

右料紙抄手如上色是哉

七庚午

九月廿日

高平の法を人の改帳或九月比之内  
至るに松家同改大は月并素原遠に  
去二月末日迄進と至り付沙金思成願分  
人三三三三三三三三三三三三三三三三  
と為るに松家度平在末に抄末に用入る  
了るに三三三三三三三三三三三三三三三三

對馬國上縣部

一 人數五千貳百六人

上四年七月改  
七上

内貳千五百七拾七人男

同貳千六百貳拾九人女

同國下縣部

一 人數八千七百叁人

上四年七月改  
七上

内四千六百拾六人男

同二千壹拾七人女

肥前國基肄部

一 人數八千六百拾五人

上四年七月改  
七上

内四千八百九人男

同三千七百六人女

同國養父部之内

一 人數叁千五百拾八人

上四年七月改  
七上



內子九百七拾六人男  
同子五百四拾八人女

人數合貳萬六千七拾八人

內寺方口之人 男

同寺方貳千七拾人女

御朱印地寺法領寺沙度作

右志對馬國上縣郡下縣郡肥前國  
基肆郡志義郡之內宗對馬寺領分  
男女人數書所通沙度作以上

文正七年庚午年九月

宗對馬寺內  
幾度次在德平

御勘定所

右科紙沼村帳也

細目の上段迄紙あり、下段武の裏、下下も  
河邊に次在念、市押、代官、市守、海軍

右帳也并代官の上、去、下、通、七、代、官、大、書、集

對馬國 上縣 郡

肥前國 下縣 郡

人數

宗對馬也

先度次在念

右、之、上、段、の、指、定、の、人、數、を、申、上、り、候、也

江、前、東、列、の、數、は、左、様、の、如、し、申、上、り、候、也

帳、内、の、名、を、一、一、付、書、紙、に、左、様、の、如、し、申、上、り、候、也

右、之、上、段、の、指、定、の、人、數、を、申、上、り、候、也

右、之、上、段、の、指、定、の、人、數、を、申、上、り、候、也

右、之、上、段、の、指、定、の、人、數、を、申、上、り、候、也

右、之、上、段、の、指、定、の、人、數、を、申、上、り、候、也

包

口國氏京ノ坂家ノ没也原中朱守  
少書為書沙多判減其息宗ノ没兼承  
遠心守根ノ忌國ノ如幾友及承志ノ如承  
之原志也法華年石版

一 切支丹宗門徒花ノ守懈急今以故  
中ノ少年年ニテ 沖土ノ法度ノ如

一 孫也者私胸中在ノ不ノ心ニ遊寧譽  
家中之者下ノ心也又汝會議ノ如  
不害成者子也所ノ事  
一 胸中在ノ不ノ家中之者下ノ又者也  
以法以後不害成者於也之早速  
丁中達事

以上

文苑七庚午年八月六日

清石沖支判

素原遠心度  
有田播磨也度

年十二月廿九

海心也田播磨也  
及海心也田播磨也  
素原遠心度  
有田播磨也

他日心也田播磨也  
年十二月廿九  
有田播磨也  
素原遠心度

肥前河川  
換毛一覽

一 田留字百拾石四斗

田留字百拾石四斗

田留字百拾石四斗

右 田留字百拾石四斗

換毛一覽

十二月廿九日

御名

文紀八年未年

正月廿九日

玄子國初  
沙田半下  
佐未琢  
利之山  
少希  
比領  
此類

一、此後の事は、  
中上ノ事ナリ

去年國難ニ成リ、  
分肥花園領分基難出立文支取  
三三万石ノ旨武臣中武臣角  
三三万石ノ旨千法園連中ノ旨  
上由中上ノ旨

正月廿日

中老内

法本海蔵

辛未八月廿日

法本海蔵及少助定事ノ旨  
海蔵ニテ八月廿三日ノ旨  
少助定事ノ旨  
少助定事ノ旨  
少助定事ノ旨  
少助定事ノ旨  
少助定事ノ旨  
少助定事ノ旨

對馬守島本海蔵



前美之入

以美之入八寸

袖美之入四寸

袖口明九寸

收形一通

但白布紗之入收

指口之入收

胸掛之入收

石帶 收之入

他如子端編細線

美尾美丸

線解地之入

一 舊糸色之入野流

美尾美丸

紫摺尾之入

他如之入

細下武之入



一 瓶子横麻夏火指如鐵

長故之不和鐵錫細故地入紫系宛東

石帶紫系宛東紫系与海新施

一 在黃子海川鐵年夏野海

紫指是吳高

海下武人學短

山

八月廿日

伏在本地應紛失之形去去方町

永田海後与指(出)庫中之運山也此

根岩肥花与秋(出)時生自外其形

其抄火車好鐵(出)於味中地應

出(出)最出辰(出)後以守九(出)住寺

後後与指(出)苗与辰(出)川澤(出)

花(出)心(出)次(出)掛(出)公(出)出

對馬島家來此本海魔所持之  
火車也九月廿二日夜然其住  
其後去十五日也乘舟中上以遊高  
山福也其上也頗重以又此日梅岩  
肥花多秋也夜不也此也其日給  
形肉也沙吟味中一山頗也其日有之  
遊城之也揚也此也其後也海之也  
也中上以上

八月廿日

舟名内

吉川澤丸也

東  
九月十日

然度 舟名内 舟名内 舟名内 舟名内  
御進、のり遊也 道駕也 舟名内 舟名内  
中級也 舟名内 舟名内 舟名内 舟名内  
牧野也 舟名内 舟名内 舟名内 舟名内  
次也 舟名内 舟名内 舟名内 舟名内  
之也 舟名内 舟名内 舟名内 舟名内  
也 舟名内 舟名内 舟名内 舟名内



對馬守家康未及決念上は  
小倉之内弟殿火を對列は是は及  
色御は看之若若小中上は秋は江坂  
九上上い

上沖下南大門町

黄丸店

上州倉部長安徳

上州倉部長安徳

七九八

有之者去月二日眼疾生法人  
門波中い元次九念方を七九八と  
お唱は御方い若くふり、の者  
出我は出展出はる百中とい

御方内

九月十日

水田完磨

辛未  
九月十七日

為三月廿日由廣文  
往之途以松年  
量後多柳也順分  
薩列麻思海船或  
接揚帆武拾五人  
乘其艘去年七月  
廿九日胡鮮因全  
羅道羅列八會內  
為白漂者向八月  
廿九日回而帆漂  
列牧咸連浦白漂  
者被破船乘地而  
去人病死殘者武  
接口人按孔曹魯  
識之

書翰書附波國... 對府波... 薩列... 只... 所用... 或... 柳... 及... 及...

為三月... 全羅道... 破... 禮曹... 羅列... 漕... 源... 及... 及...



未<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>書<sup>レ</sup>未<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>張<sup>レ</sup>子<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>接  
之<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>嚴<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>合<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>否<sup>レ</sup>又  
許<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>終<sup>レ</sup>古<sup>レ</sup>後<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>才<sup>レ</sup>一<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>は  
は<sup>レ</sup>傳<sup>レ</sup>者<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>一<sup>レ</sup>件<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>門<sup>レ</sup>派<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>は  
未<sup>レ</sup>編<sup>レ</sup>而<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>ふ<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>書<sup>レ</sup>未<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>子<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>お<sup>レ</sup>海<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>積<sup>レ</sup>  
し<sup>レ</sup>て<sup>レ</sup>敏<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>仕<sup>レ</sup>出<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>、免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>派<sup>レ</sup>中<sup>レ</sup>未<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>  
長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>子<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>成<sup>レ</sup>お<sup>レ</sup>納<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>時<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>  
長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>張<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>お<sup>レ</sup>成<sup>レ</sup>板<sup>レ</sup>も<sup>レ</sup>す<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>未<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>子<sup>レ</sup>  
長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>張<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>時<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>す<sup>レ</sup>事<sup>レ</sup>に

お<sup>レ</sup>納<sup>レ</sup>後<sup>レ</sup>日<sup>レ</sup>も<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>合<sup>レ</sup>未<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>は  
申<sup>レ</sup>子<sup>レ</sup>接<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>お<sup>レ</sup>成<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>お<sup>レ</sup>ん<sup>レ</sup>事<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>付<sup>レ</sup>而<sup>レ</sup>一<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>  
る<sup>レ</sup>遠<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>派<sup>レ</sup>中<sup>レ</sup>未<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>等<sup>レ</sup>出<sup>レ</sup>た<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>否<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>  
長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>合<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>心<sup>レ</sup>付<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>す<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>否<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>  
看<sup>レ</sup>く<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>方<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>遠<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>否<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>否<sup>レ</sup>  
し<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>張<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>時<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>す<sup>レ</sup>事<sup>レ</sup>に  
子<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>、お<sup>レ</sup>納<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>時<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>否<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>接<sup>レ</sup>た<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>  
お<sup>レ</sup>成<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>お<sup>レ</sup>成<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>付<sup>レ</sup>而<sup>レ</sup>張<sup>レ</sup>長<sup>レ</sup>許<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>之<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>  
申<sup>レ</sup>上<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>申<sup>レ</sup>上<sup>レ</sup>の<sup>レ</sup>免<sup>レ</sup>計<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>し<sup>レ</sup>は<sup>レ</sup>否<sup>レ</sup>と<sup>レ</sup>



出用人... 河分... 身... 洋...  
... 國... 氣... 終... 終... 終...  
... 終...

### 中連狀左之通

一筆波... 上... 先... 達... 山... 業...  
... 上... 松... 平... 豐... 後... 守... 領... 內... 薩... 列...  
... 麻... 兒... 瀉... 船... 二十... 場... 帆... 二十... 五... 人... 乘... 一... 艘...

去年七月廿九日朝鮮國全羅道  
羅列八禽內瀉... 瀉者... 八月廿九日  
... 同... 到... 出... 帆... 比... 非... 交... 逆... 風... 波... 高... 相... 成...  
... 瀉... 列... 牧... 威... 連... 浦... 上... 瀉... 者... 破... 船... 比... 乘... 組...  
... 之... 內... 一... 人... 病... 死... 殘... 之... 者... 二十... 四... 人... 早... 達...  
... 船... 若... 如... 為... 乘... 組... 右... 瀉... 人... 云... 彼... 地... 上... 乘... 乘...  
... 家... 乘... 上... 乘... 乘... 去... 月... 廿... 二... 日... 對... 府... 上... 者...  
... 比... 非... 自... 遂... 於... 味... 非... 交... 別... 乘... 上... 乘... 乘...  
... 活... 之... 意... 而... 交... 作... 出... 意... 以... 通... 子... 乘... 乘... 乘... 乘...

出使使臣使者表副送公從禮曹  
參議表副來以書始并從朝鮮國  
漂人乞之贈物自詠漂人乞上書  
若歲附荷物之書付札等乞 乞為  
少披見乞乞乞之非恐惶謹乞

七月十八日

松平伊豆守

牧野備前守  
土井大炊頭  
青山下野守

書首一箱

地位之常通 寫掛印

上書一箱

朝鮮國全羅道羅列八禽內馮上漂者乞  
薩列鹿兒島漂人相副來非從禮曹參議之書翰

“ 從朝鮮國源人<sup>口上</sup>之贈物目錄也 ”

“ 薩列源人<sup>口上</sup>書并宗旨若藏附  
荷物書付也 ”

“ 薩列源人<sup>口上</sup>持之本札也 ”

右何書或紙帳<sup>注之</sup>上<sup>二</sup>書

者<sup>一</sup>通<sup>二</sup>書<sup>一</sup>織<sup>二</sup>目<sup>一</sup>中<sup>二</sup>平<sup>一</sup>也

右三冊書袋<sup>一</sup>入<sup>二</sup>信<sup>一</sup>之<sup>二</sup>長<sup>一</sup>通

從朝鮮國源人<sup>口上</sup>之贈物目錄也  
薩列源人<sup>口上</sup>書并宗旨若藏附荷物書付也  
薩列源人<sup>口上</sup>持之本札也

右<sup>二</sup>對<sup>一</sup>源人<sup>口上</sup>送<sup>二</sup>信<sup>一</sup>之<sup>二</sup>府<sup>一</sup>之<sup>二</sup>長<sup>一</sup>也

也<sup>一</sup>以<sup>二</sup>此<sup>一</sup>書<sup>二</sup>之<sup>三</sup>長<sup>一</sup>也<sup>二</sup>出<sup>一</sup>之<sup>二</sup>長<sup>一</sup>也  
敏<sup>一</sup>之<sup>二</sup>長<sup>一</sup>也<sup>二</sup>出<sup>一</sup>之<sup>二</sup>長<sup>一</sup>也  
也<sup>一</sup>以<sup>二</sup>此<sup>一</sup>書<sup>二</sup>之<sup>三</sup>長<sup>一</sup>也<sup>二</sup>出<sup>一</sup>之<sup>二</sup>長<sup>一</sup>也

以遠上望政府以爲高麗 皇太子  
皇太子以爲高麗皇太子政府亦以皇太子  
長壽上望人上請免一上於  
時日之積 上望政府以爲高麗 皇太子

就古以願上望政府以爲高麗 皇太子  
殿樣上望政府以爲高麗 皇太子  
爲知也

心口紙致書上

一被去年 朝鮮國上致書上  
公義上望政府以爲高麗 皇太子  
大源人六月廿二日對列上致書上  
先那上通對馬上使者上副長壽  
上望政府以爲高麗 皇太子

飛北山周叢林山中云云

之海所洋旅上我境對馬島為知

書狀云云云云云云云云云云

中致公太守云云前乃掛合云云

嫩加諸侯力云云云云云云云

皇太后云云

九月十七日

云云云云云云對馬島云云

為也知云云書狀云云長信云云

云云云云云云云云云云云云

奈山仲孝史記

種子島渡船

夷長次郎

薩列源人 口上書并宗自藏附

新物書并等之旨

但張口云云云云云云云云

乃思口上云云

我之織以年者後高城下元心兒焉居如  
 此後市部為一航或拾場帆冲去秋自浦  
 劫物多吏左武拾一人乘往去己年十月廿一日  
 麻兒海山川年有出帆七海白之波海地  
 用向水澤之物積込汝列之志去年七月  
 廿二日七海出帆此處車風浪吹之波列  
 也七海此處我鄭家付洋中一漂居  
 同廿七日何國古不抄分大海之身掛以付  
 海邊之海掛以處掛場之從二層之  
 波沙掛居以古氣是浦村又從從之義  
 流抄採居以交同廿八日夜以以大風  
 亦成那後以付海從切拂風波之紅  
 始之也之處同廿九日何國古不抄分山下  
 亦付村人逃之也乘法事致抄抱以地  
 日中抄一人之乘之也言海那抄之也後  
 言通以人之乘之初与胡鮮國之中織之  
 義知仕其也入以然處漂着而日  
 水木料采之也外矣業以等之也抄也亦

於本月廿九日之後漕船掛八、風波遂為  
海列島及彼船分胡群船口、其家紅  
多去浦、中、南、北、通、船、比、以、支

對列樣沙段人極方、其、成、或、漂流之  
於中、其、遊、也、事、向、法、事、一、也、恐、二、也、其、付  
至、取、亦、占、周、意、其、以、下、為、其、家、紅、其、成、為  
牛、是、浦、也、其、取、比、以、支、段、人、極、方、其、成  
沙、對、為、其、以、支、其、難、者、其、以、比、以、支、其、  
其、後、等、語、一、也、以、其、文、其、付、以、其、入、用、

其、之、等、其、以、下、其、後、其、極、方、其、成、其、法、事  
其、以、其、以、其、先、月、廿、七、日、其、行、也、其、及、其  
其、付、以、其、其、胡、群、人、其、一、其、極、方、其、成、其、  
其、之、語、一、也、其、本、語、其、文、其、以、其、其、用、白、其、  
其、其、與、難、者、其、其、其、其、而、日、上、其、其、  
其、其、其、九、日、胡、群、其、其、其、帆、而、日、對、列、其、其、  
其、其、其、其、者、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、  
其、帆、漕、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、  
其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、其、

可之亦未矣。某亦愛其下。心法。其心  
法。為浦之。着。如。法。大。安。心。法。以。誠。心。難。首  
法。合。其。好。上。云。

一 乘。經。內。人。不。足。致。居。以。後。其。法。也。  
乘。處。中。更。不。能。持。中。者。七。德。後。其。也。  
時。心。病。事。其。自。以。知。古。之。也。那。其。及。以。  
程。之。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。  
其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。

九月四日。其。事。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。  
其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。  
其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。

一 你。乞。者。去。于。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。  
其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。  
其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。

一 漂流。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。  
其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。  
其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。其。法。也。



河身正氣其或之後一而好者也

一 胡舞人之不依何息 鬪實也 不仕部之

或成心為其 決之以此 識地事也

一 宗經之內為人 亦于其 感之 避也 為

亦更之內平治 事者少 其 福也

為人 其于其 也

一 性東切也 識之 於 也 亦 也 破 也

識之 流 矣 為 仕 亦 揚 也 亦 板 十 七 枚 於

胡舞 也 及 之 極 也 亦 上 也 也

一 或 兼 全 報 識 也 亦 持 仕 居 中 也 也

亦 遊 也 亦 亦 仲 也 亦 一 也 極 也 也 也

識 少 也 亦 持 仕 居 中 也 亦 教 也 識 也 也

書 我 仕 也 亦 全 報 也 亦 持 仕 居 中 也 也

破 也 也 後 也 亦 澤 也 亦 也 也 入 用

于... 我... 自... 燒... 帝...

一 積... 物... 咸... 遊... 以... 乃... 九... 十... 三... 七...  
彼... 去... 一... 長... 五... 揚... 以... 五... 十... 積... 行... 亦... 少...  
可... 持... 法... 指... 心... 書... 我... 壯... 心

一 宗... 名... 若... 羊... 中... 咸... 遊... 以... 乃... 九... 十... 三... 七...

一 禪... 宗... 生... 癡... 列... 羊... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 回... 宗... 回... 以... 回... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 回... 宗... 回... 以... 回... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 回... 宗... 回... 以... 回... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 回... 宗... 回... 以... 回... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 回... 宗... 回... 以... 回... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 回... 宗... 回... 以... 回... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 回... 宗... 回... 以... 回... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 回... 宗... 回... 以... 回... 口... 拾... 七... 氣... 劫... 物

一 同宗  
一 同宗  
一 同宗  
一 同宗  
一 同宗  
一 同宗  
一 同宗

同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

一 同宗  
一 法華宗  
一 同宗  
一 同宗  
一 同宗  
一 同宗  
一 同宗  
一 同宗

同  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

同  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

同  
同  
同  
同  
同  
同  
同  
同

一 黑砂糖七万貳千斤

移入... 貳拾七丁

一 糖全百貳拾九俵

右積荷流矢... 分

一 九六織... 拾九萬百... 拾文

右... 伸... 持... 分

一 刀... 物

一 膠... 物 若少刀

一 柳... 貳

一 帳箱... 貳

一 舟... 貳

一 若... 貳

一 釘... 拾貳... 貳

一 丁... 大小八

一 帆布... 拾... 九

一 苔繩之類大小三

一 小環 三頭

一 石卷大小式

一 流漣利三

右之紅頭助助分

一 振首之物 小物并左

一 柳葉口

一 打附箱三

一 掛硯箱三

一 每箱三

一 鐵箱三

一 沙糖三下

一 着器入風呂桶包式

一 整結箱三鏡式面漆

一 裝蓋式本

一 銅圓端三

右水支衣蓋分

一 柳 蓑 々

一 淺 靴 々

一 着 留 入 蓑 包 式

右水丈物吉部分

一 柳 蓑 々

一 蓑 包 々

但帳蓑 々 未高 々  
裝 蓑 々 入 合 々 々

一 打 付 靴 々

一 着 留 入 蓑 包 式

右水丈物吉部分

一 柳 蓑 々

一 淺 靴 々

一 裝 結 靴 々 續 々 高 派

右水丈物吉部分

一 風 呂 敷 々

一 柳 蓑 々

一 著 第 壹

一 梳 引 寸 壹

一 贊 第 壹 鏡 部 西 派

右水史子物分

一 柳 第 壹

一 梳 引 寸 壹 包 貳

一 贊 第 壹 鏡 部 西 派

一 風 呂 袋 壹

一 著 第 壹

右水史子物分

一 柳 第 壹

一 帳 第 壹

一 風 呂 袋 壹

右水史子物分

一 柳 第 壹

一 讀 卷 卷

一 贊 卷 卷 讀 或 而 添

一 著 卷 或

一 撰 卷

右 水 史 松 卷 部 分

一 柳 卷 卷

一 讀 卷 卷

一 市 卷 卷 卷

右 水 史 十 卷 分

一 柳 卷 卷

一 贊 卷 卷 讀 或 而 添

一 每 卷 卷 卷

一 梳 卷 卷 卷

右 水 史 小 卷 分

一 柳 卷 卷



一 穢物

一 梳

右水史 傳記部 分

一 柳

一 舞

一 管

右水史 傳記部 分

一 柳

一 舞

一 著

右水史 傳記部 分

一 柳

一 梳

一 管

一 着智入走包 幸

右水史卷十部分

一 柳 幸

一 著 幸

一 着智入走包 幸

右水史卷十部分

一 柳 幸

一 著 幸

一 着智入走包 幸

右水史卷十部分

一 柳 幸

一 著 幸

右水史卷十部分

一 柳 幸

一 風呂敷包 三

右の裏手 幸 三 分

一 柳 蔭 式  
一 風呂敷包 三

右の裏手 清 三 分

一 猪 鬃 毛 物 三  
一 柳 蔭 式 三

一 打 附 籠 毛 梳 毛 入  
一 吸 物 籠 入 小 籠 式  
一 日 笠 毛 梳

右の裏手 金 沢 部 分

一 柳 蔭 式  
一 柳 硯 籠 式  
一 著 籠 式  
一 風呂敷包 三

一 走包式像 古着入  
一 梳入走包式  
一 梳入菜權 々

古舟史新集分

一 梳入 古着入  
一 柳葉 々  
一 風呂敷包式

古舟史新集分

一 柳葉 々  
一 砂瓶 古着入  
一 舟 古着入

古舟史新集分

一 梳入 古着入  
一 柳葉 々  
一 梳葉 々

古舟史新集分

右通抄遺 彦彦彦彦以上

水史中

彦彦彦彦彦彦  
彦彦彦彦彦彦

未  
彦彦彦彦

彦彦彦彦

村勢高麗様  
彦彦彦彦彦彦

救後忠貞様  
彦彦彦彦彦彦

彦彦彦彦彦彦

彦彦彦彦彦彦

彦彦彦彦彦彦  
彦彦彦彦彦彦

彦彦彦彦彦彦  
彦彦彦彦彦彦

彦彦彦彦彦彦

袁燒卡 禪宗

年三拾六歲

崇政 勘助

寬政十二年

袁麻兒河中西屋町

堀 長茂 卡  
藤原正助 卡

申 十一月廿五日

袁卡 禪宗

各以先年書沒  
新元正馬男子

夜三拾

拾七早集

寬政十二年

袁賴娃大川浦

杉良三治  
南田執八郎

申 十一月廿五日

袁卡 禪宗

名子

小右

拾九早集

寬政十二年

袁種子為

町田長次郎  
後田信長

申 十一月廿五日

袁卡 法華宗

拾四早集

比田浦水之邊為又之市之邊  
楊之佛寺前男子十餘年其後集

寛政十二年

表 若山平川浦

申 十月廿一日

表 下 禅宗

指 三 集

寛政十二年

表 山川町

申 十二月九日

表 下 禅宗

或 指 三 集

寛政十二年

表 聖田及小浦浦

申 十二月廿一日

表 下 禅宗

或 指 三 集

寛政十二年

表 秋月溪改

申 十二月廿一日

與 念 方 年 法  
指 宿 仲 寺 部

若 子  
甚 四 部

若 切 六 部

若 麦 刈 甚 治

若 子 念 念 子

佛 寺 部

折 田 檀 甚 為  
本 極 濃 甚 治

若 子 念 念 子  
十 七 部

德 田 治 甚 治  
若 山 甚 甚 甚

袁戶 禪宗

換九歳

寛政三〇

表 秋月漢改

申十二月廿日

袁戶 禪宗

換九歳

寛政三〇

表 種子湯

申十二月廿日

十為世中一為世男子

孝十郎

徳田 法三郎

長山 宗三郎

十為世中一為世男子

小三

町田 長三郎

徳田 信三郎

漢津 延浦水三郎 助信三郎 八  
男子 古物 伯文

物古郎

袁戶 法華宗

換三歳

寛政三〇

表 種子湯

申十二月廿日

袁戶 法華宗

換三歳

町田 長三郎  
徳田 信三郎

漢津 延浦水三郎 助信三郎 八  
男子 古物 伯文

三三



寛政十二〇

表 指宿湊浦

申十二月三日

表 下 禅宗

括内集

寛政十二〇

表 種子浦中城江町

申十二月五日

岩切六郎

表 刈 彦治

種子浦中城江町

三郎

藤原正助

表 堀 長茂

各以今并嘉吉郎伯父  
全助男子

全次郎

表 下 禅宗

括内集

寛政十二〇

表 種子浦

申十二月五日

町田長三郎

表 徳田 信茂

種子浦中城江町  
表 全次郎

比村子助

表 下 法華宗

三指七集

寛政十二〇

表 種子鴻

申十一月廿日

表 中 法華宗

括 四 衆

寛政十二〇

表 頼 娃 大 川 浦

申十一月廿日

表 中 禪 宗

括 四 衆

寛政十二〇

表 頼 娃 石 垣 浦

申十一月廿日

表 中 禪 宗

括 四 衆

町田長四郎

瑞田傳次郎

種子鴻法華宗友人  
松下勘十郎次男

松下清次郎

杉 友 三 治

茵 田 花 八 郎

若 子

少 年 治

杉 友 三 治

茵 田 花 八 郎

若 子

三 右 衛 門

日本國對馬州太守拾遺平公閣下

緬惟辰下

啓居冲裕慰溯并切卽接東萊府使馳報去年

八月二十九日

貴國船壹隻漂到于濟州咸德浦本年二月二十七日

到泊牛巖浦遣古官問情則漂人二十五名俱是

貴國薩摩州居人以船業資生已巳年十月二十一日騎船

貴往

貴國七島實載砂糖鬱金寬永通寶等屬去年七月

貴二十二日自七島發向本州猝遇東南大風漂蕩洋中

至同月二十九日漂到一處即全羅道羅州八禽內島

自其處官長厚饋糧饌又助給行船糧米同年八

月二十九日離發曳到外洋又遭逆風波蕩出沒漂到

于濟州牧咸德浦所乘船隻為隱礁所觸片片破碎

幸得地方人出救人命俱為生全其中格軍一名以浮症添祝多般救療竟至身死地方官出余布厚殮

依所願埋置生存二十四名多月留連今始回泊此處

云云茲令各人等處資給衣糧順付歸船而格軍

一名之客地身死極為驚慘因此委告統希

宗亮不備

辛未年三月 日

禮曹參議金

蒼根

住

貴國醫書本藥料命命官家計水通宜子通者。六年十月  
辛未年三月己酉日本州押送東南大坂津高津中  
津國醫下新地日深到一處守命藥道歸州入倉內島  
一處人等與東歸醫藥藥師因訟請命歸歸在歸年人  
命歸歸命命命命命命命命命命命命命命命命命  
命命命命命命命命命命命命命命命命命命命命命命命

後朝神國傳人始記日記

從朝鮮國漂人<sup>正</sup>之贈物目錄

一州漂民二十四名

衣資米各一疋式

合米十六石

辛未五月 日東萊

大口 薩摩州漂民二十四名

明太魚 越海糧米各十斗式

真法衣 衣資木各一疋式

合米十六石

薩摩州漂民二十四名

木二十四疋

赤賣際各一疋左

燧新餅米各十疋左

計票月二十四日

辛未五月 日東菜

糶米壹石玖斗

大口魚拾貳尾

明太魚柒拾貳尾

真油貳刀肆合

白蛤捌刀肆夕

辛未五月二十七日



鹽捌刀肆夕

甘藷叁斤拾伍兩玖錢陸分

甘醬壹斗貳刀

大際

辛未五月初二日

酒壹瓶

北魚叁級

乾柿貳貼

計

辛未五月二十七日訓導玄判官

辛未年正月二十七日別差吳判官

監制刀肆

情

月管本亦拾伍兩玖分陸分

陳林有根

月管壹斗貳力

北魚叁條

際

配壹肆

覽

一料米陸拾石伍斗肆并

一大口魚肆佰柒拾伍尾貳条

一明太貳仟捌佰伍拾壹尾貳条

一真油玖斗伍并肆夕

一甘醬肆拾柒斗伍并貳合

一甘藿壹佰伍拾捌斤肆戈捌分

一白蛤叁拾叁斗貳并陸合

一 鹽參拾叁斗貳升陸合

一 際

右者自庚午七月念九日夕至辛未二月念一日

所供薩摩州漂人二十四名合一百九十八日入

給事

辛未五月二十七日訓導聖著玄判官

別差泊深吳判官

覺

一 料米叁拾玖石拾斗貳升

一 大口魚壹佰玖拾柒尾陸条

一 明太壹仟柒佰捌拾伍尾陸条

一 真油伍斗玖升伍合貳夕

一 甘醬貳拾玖斗柒升陸合叁夕

一 甘藷玖拾玖斤拾貳兩貳錢

一 辛白蛤貳拾斗捌升叁合貳夕

一 海鹽貳拾斗捌升叁合貳夕

際自辛未二月念二日至同辛未五月念一日

右者自辛未二月念二日至同年五月念七日朝所  
供薩摩州漂人二十四名合二十五五日入給事  
辛未五月二十七日訓導聖著玄判官

一 別差伯深吳判官

一 由齋南齋餘人年深未對合參及百九十八日入

一 真武山卡及長山合及

一 明太壹刊紫酌階餘山具對茶

一 大子壹酌餘餘茶判官

一 得米參餘餘及計用海書派吳判官

六月十九日

行國思公春大坡家門口沙板行學  
本原書以書水及書山八中及書  
以行以行以行以行以行以行以行  
中道之志志以行以行以行以行以行  
中道之志志以行以行以行以行以行

六月十九日

御國田代東大坂宗門改御  
素原在江戶城之内書如德宗門改  
御國田代東大坂宗門改御  
御國田代東大坂宗門改御

御國田代東大坂宗門改御

有之也。此亦一也。後延門之長也。存亦不有  
甚多也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。  
大目目子松也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。

一切支丹家門從前之吾懈急今以改  
中山光年也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。  
相守私餉中也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。  
家中之者。下之也。是也。又改余懷也。此亦一也。  
不審成者。此亦一也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。

一 餉中在之。不之家中之者。下之也。又者。此亦一也。  
此亦一也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。此亦一也。  
中達事

以上

文正八年八月十八日

御名所兩列

素系遠江之皮  
岩瀨如松之皮







大... 通... 書... 袋入... 紙帳二ツ  
折... 丹... 一... 入... 年...

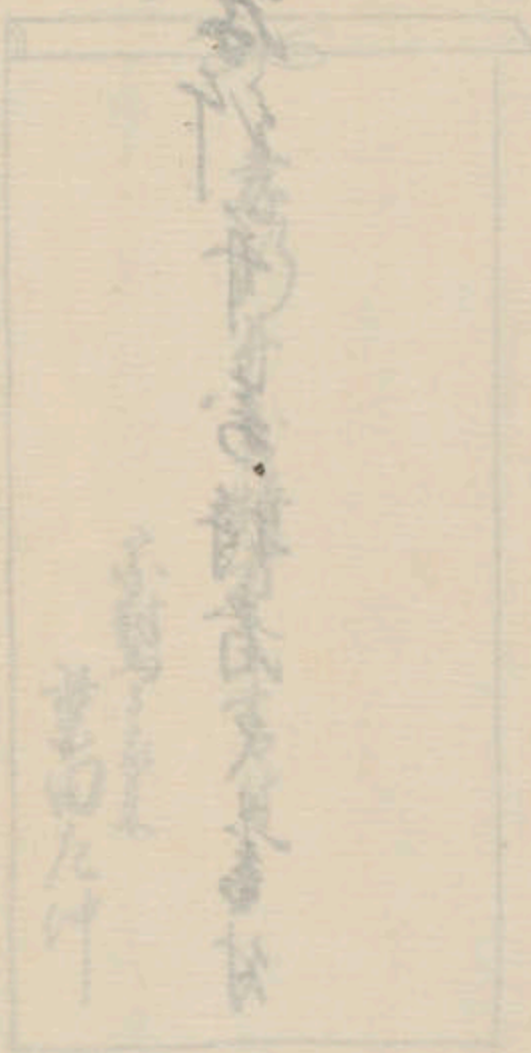
孝行并特者之書付  
宗對馬守家  
葉田九伸

孝行并特者之書付

宗對馬守家

葉田九伸

Handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.



宗對馬島領分

對馬國府中

町人

己年四拾三歲

古花

右中丞職負美成者与孝心之迹町役人  
所出作付相以處元東國新者与小新結  
馬方中御居以紙云丁卯年八月义大福  
中願醫藥等志来) 善場心之甘食寤之  
中(之)始列心之碑(之)中(之)標志(之)於(之)於(之)於(之)

起病難治也。成夜年六月某中。以右父  
病。奈于程母。或中風。良記。是又令人  
扮抱。手。以。而。記。却。或。難。或。未。生。危。識  
女。房。連。或。之。之。身。喜。人。之。持。以。日。之。此。相  
是。之。老。父。母。也。育。也。中。一。右。之。通。友。親。在。  
難。病。之。而。片。時。或。子。難。以。識。不。亦。或。以。之。看。病  
色。之。打。頃。以。而。之。友。親。應。育。去。不。及。中。日。之。之  
死。相。與。來。不。中。以。分。清。家。心。易。者。大。上。深。於。入  
漸。一。二。時。之。暇。之。死。以。而。之。也。也。場。訓。之。所。行。物

運送。一。終。之。貨。報。之。得。并。怨。意。之。得。意。方。之。  
友。親。快。氣。之。上。也。勤。下。續。之。於。入。之。少。之。病。之  
報。識。之。情。請。高。科。之。藥。物。之。良。酒。等。醫。術。之  
之。良。通。也。加。療。者。右。一。二。時。之。持。之。之。後。以  
後。之。始。終。之。財。源。之。寢。食。之。志。力。之。及。看。病。之。身。  
之。好。以。食。物。等。之。或。之。人。念。此。之。與。者。表。也。持。之。以。此  
之。遠。之。之。度。之。付。去。乙。巳。年。正。月。為。復。其。報  
即。收。之。也。中。作

日人願分

對馬國府中

町人

乙年四拾歲

利之清

右利之清織布特成者之逸村方之河出公付  
其以處與良郷 鷗知村 願稿之漢中 所  
管地波可持在光年 家内之者在同一  
波耕作在處右場所 田舍 運之 船場 与  
諸人 漢之 場 所 處村 之 役人 等 之 志

百姓商人 至府中 運送 之 役 中 取 取 亦 与  
通 運 難 取 取 泊 家 取 之 以 掛 之 之 乃 左  
難 儀 及 以 處 之 之 以 一 為 波 止 宿 報 儀 取 亦  
中 請 食 物 等 其 與 志 之 取 取 亦 亦 耕 地 場 亦  
之 儀 取 村 人 田 島 少 者 亦 配 為 之 者 乃 為 之  
取 取 亦 儀 儀 物 取 取 亦 之 乃 難 取 之 者 亦 亦 亦  
出 來 種 全 之 其 格 列 因 取 之 者 亦 亦 亦 亦  
穀 物 等 相 取 之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
出 精 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

是又素素之中質親利之端。織之冠子冠年之  
之働我相布意係之親之管。活信使來務  
所用材本死出等村中。其為以節之哉之  
牛馬諸道具等村方之割合。且抱事足之程。  
其為素之。其哉波助力諸人と相屬。以候。  
波出精波是。其特之也。其遠之。其自之。其年。  
二月為慶典。本給之也。其是。其作。

同人願分

對馬國府中

町人

海三節時

本年三拾三歲

我三節

右哉三節。織美也成者。与孝心之也。町役人等  
許出以付。其以。慶年素。父母之。存者。其也。  
其又。織數年。其也。其也。町人之世業。  
令相成。其也。其也。其也。其也。町人之世業。  
其也。其也。其也。其也。其也。其也。町人之世業。

心之及於身。予自去歲代等相若。後自去  
歲之節。晴雨之厥。可。一。身。一。人。之。日。操。以  
療。其。相。應。以。頌。化。之。外。友。親。相。好。以。食。物。之。氣  
日。持。為。之。中。一。種。之。心。也。一。女。一。時。之。志  
史。之。為。相。給。予。常。御。我。友。親。之。氣。一。日。送  
皇。志。日。持。與。附。源。也。應。以。每。夜。聽。啼。之  
相。源。友。親。以。中。作。從。志。一。於。首。後。與。去。歲。之。節  
妻。子。之。志。者。心。一。皆。家。內。賤。妾。一。和。化。孝。者  
相。持。以。中。人。也。遠。于。所。應。以。付。去。歲。年。年。二。月

為慶貞報式收長卷中作

同人願分

對馬國佐須御撰報

村岡士高村百姓

昌元三五九四拾五号

勘之信

年年四拾五歲

右勘之信。織。孝。心。者。特。成。之。也。村。方。之。海。出  
作。付。相。以。以。處。人。物。中。也。一。皆。之。年。來。友。親。之

心。善事。許。以。深。孝。心。を。於。け。り。故。支。親。家。  
意。是。深。く。高。元。に。其。旨。以。儀。を。お。好。り。付。公。役。  
之。外。遊。進。進。取。り。事。以。用。向。有。之。作。節。儀。  
支。親。家。以。取。取。中。作。り。去。清。取。り。左。法。白。事。  
且。又。多。年。に。り。白。支。親。に。暑。寒。之。時。後。お。出。來。  
丈。之。為。着。不。中。以。白。事。之。事。以。事。子。  
至。如。何。程。凌。意。以。左。不。お。着。抄。又。村。内。因。因。之。  
者。以。事。之。事。以。事。之。事。以。事。之。事。以。事。之。  
相。與。以。白。救。或。去。農。地。難。と。申。也。一。者。之。以。事。之。

為。子。傳。賢。識。を。出。し。人。と。雇。也。以。計。儀。以。事。  
右。御。之。者。付。村。中。之。帰。後。始。り。迄。子。地。事。好。  
清。息。之。村。之。之。諸。者。之。以。地。之。儀。お。子。之。外。  
年。事。以。取。取。中。付。公。役。之。儀。後。お。勤。波。是。  
孝。心。善。事。之。以。事。相。遠。之。以。事。以。事。去。庚。午。年。  
以。月。為。養。災。米。之。儀。以。事。以。事。以。事。

日人願分

對馬國府中

如竹之者

十年十月拾壹歲

山崎

有由是為識孝心之過故人たより誦出以付  
お礼に慶八拾肆歲。お成に喜お母波お持指お  
若年之此より孝心とてお母お食糧等  
相好お忘我少知お忘心と能償。お相物  
お忘とお水為相給請事一心に叶お知は  
お母お年。池お少お、お之、お寝起と素  
諸用人お。お少おお忘お忘お忘お忘お忘

元振元來困窮之者、お母お右之次中、お  
お心お識と相成意お高元。おお一  
お母等とお心世業とお一。おおおおお  
お事。おおおおおおおおおおおおお  
去庚午年九月為獲英浪お波お波お波お波

同人願分

對馬國府中

浪掛お代



午年武拾家藏

去年

右名平 織美垂成者 与孝心之造 汲人  
 洲出以付 此以慶八拾條 成相成以 祖母波  
 可持長多年 起病相煩 藤人同以 此在如  
 無動之中 与 檢別者 病此 勤源去  
 御我他行 且仕与 成丈例 付此 善端  
 心之付 氣相叶 此深切 或極 其有 勤向成  
 有之者 檢別 付此 孝心之造 此造 于 此在 以付  
 去 庚午年 九月 為 獲 貞 浪 武 收 長 也 中 以

右名通 少座非以上

宗對馬与家藏

文化六十年十二月

栗田九仲

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The characters are faint and difficult to decipher.

文比九七由一

二月廿六日

Handwritten text in vertical columns on the left page, likely bleed-through from the reverse side. The characters are faint and difficult to decipher.

文化九年壬申年

二月廿六日

去末八月廿二日因親之儀に  
任じ作付  
九之少庵書下此勅之  
可也此而  
後次在書の  
接系と死  
勅之増  
由  
作在書の  
及出會  
と在也

張頌高內

高寺方石分

張國叔之音石

他三年一齊入

玄羊八月日 作出作國叔之儀一明年

國重人外。去未子分紀前至順分春錄

養父支那之高寺方石之子四百或石七年

或作之內寺方石之分 寺儀 計三計

五 入之叔子儀 奏韓 那之內界

尾浦内公藏之國重中之張派中一之  
心

寺名

二月廿六日

黃後次筆

右料儀おの事切上之包岩儀

右之通先西之振之書出 一之如之配

劫之坊白作書及下高寺方石分儀

之通朱書之通書加策在。其通

其公濟書出於其家達作付次在書  
石席書加其意也依之中文内律自亦  
朱解之通津之採米之朱書之通  
口口書加其意也依之家達

文化九年 壬申年

六月十九日

松平豊後守柳沙願公薩列山川  
中不可之垂走被朝鮮口波源若作依  
法同掛之其業内之作之其根可取計有  
沙同より中來い付法用書古井大炊以依  
左之御業内書内書之居安方次屋持系  
其業内掛合其出い其書取之依其業内

和源氏之流之在府之長治也其志也  
其志耐根之實之及此乎以先形之此年書之通  
取調也向之居實方次金之持之亦以用人之風也  
此也之治國之成也之後之歸

朝鮮國全羅道之內南海之中  
日本書拾四端帆子人亦之彼之君武人  
於公七人乘一艘而四月八日波源者以  
遂紀同之也松不豐後守順分薩列

小川年事可之書中出之波比也其言  
從家乘中報對列之者之猶亦遂金誠  
別來無之作之無之之徒也其也其也  
漢書長治也其也其也其也其也其也其也  
進可中上作之也其也其也其也其也其也其也

五月十一日  
御名

治在府長治也其也其也其也其也其也其也  
△其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也

沙平十逢以上

六月十一日

所名

右の如きも大書切之包紙法紙書出名

右の対沙平松平豊後守様へ在之通  
此の如き様より申札を有居知申紙

いふ紙法紙書出名

其沙平様沙平松平豊後守様へ在之通  
右人系一被申候之者式人系組南月八日  
朝鮮國全羅道之南南海之中右日波  
源右の対沙平所用番公井大炊以候  
別紙之通沙平申上候之先右之通

右沙平様へ有居知名紙と紙法紙書出名  
對馬守中分紙申候以上様へ猶更細申上  
可及為候以上

宗對馬守

榮田 九伸

茂方次郎

六月十九日

葉山伸大支帳

種子湯次在為帳

以酌宜長光於沙國於月十日自述此之後  
中東右之海地非札之山沙葉竹之路之山  
沙光極分山向身居安方次居惠後御用者  
古井大炊師次係之山取次掛合所連此  
此出之山向身居安方次居惠後御用者

右述此之後合此院之及此院合此院若書鈴木  
御為所出無此口之書持取取次掛合此出  
此口之書たに記す

東福寺末云新宜長光去末去國許に  
沙下此在勤しき事之月初旬より此西氣  
之氣友の對馬子醫所年回降致沙氣  
調進仕摘被方候此在常井考知此候如  
此調表之此等し海國次事之此重致此候



法快後三月廿七日... 碩学... 國許... 先物... 以勤... 此... 以上

六月十九日

宗對馬... 於本儀馬

申

九月八日

本多... 所... 牧野... 持... 在歸

本多... 八百年中刻

死去

母子

返事

宗對馬守

忌三日

九月廿二日  
同十日と

服七日

九月八日  
同十四日と

右へ通忌服請申し對馬守様  
國許に在るは身私共より此後

所届上より以上

所着内

先方次第

九月八日

右斜紙わりの甘切之包に伊達紙

申

十月十六日

延上六十月方とをかりしりた  
山陰后以ありし由日分ニを作上り  
之を絶す

御園田代東大坂宗門也改抄源作版  
中東以牙沙葉同書抄德宗門也改  
水脚若按中極占海也辰辰辰辰辰  
抄系也九次掛合差至請元書也改

一切支丹宗門徒前中解急今以抄改  
中作先年以出作中法夜書也

沐守守私傾中在之可之至之遂  
實斃家中之者十之至是亦致  
余滋作處不實成者至法刑之事  
一頃中在之可之家中之者十之又為  
至之若此以後不實成者能為之志  
早速下中達事

以上

文正九年八月十三日

許名許支判

水師若校之後

岩漸加贊之後

壬申

十月廿八日

帝二月十一日御屏之作之重之松平  
其在古林以似合薩州山一重拾四為概  
一被之人系外使乞之者二人於合七人  
乘組帝四月八日朝鮮國全羅道之內  
南海之沙溪島以外從法曹之新後之  
書籍附被國之之之之之九月  
九日對所被之之之之之之之之之

廣明太子奇其長壽出幸於新羅使高  
之於海之東送以舟右書翰之於河源人  
口上書等之於之舟舟連出於海  
也用書書山下時之海舟舟舟舟舟  
左伸舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟  
舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟舟舟舟舟舟

一筆舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

中上非松平豐後守願公之廣別  
山川書拾四詔帆一艘舟人舟舟舟  
便乞之舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟  
八日朝鮮國全羅道之內南海海濱  
漂着右源人其被比舟舟舟舟舟舟  
舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟  
舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟  
舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟  
舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

乘收書籍無從朝鮮國源人之  
贈物目錄源人口上書宗旨名歲附  
書具行物之書札等之字為  
以披覽之云々云々

九月廿八日

松平伊豆守  
牧野備前守

古井大炊頭  
青山卜野守

書籍一箱

德信三才之通四掛 所行

二六書一抄片之也

朝鮮國全羅道南海白漂居之薩州  
梅宿那源人相副來收從禮曹參政之  
書籍

從朝鮮國源人之禮物目錄寫

從別源人口之書英宗有在歲附寫

從別源人書具行物書對寫

從別源人書持之札英宗附寫

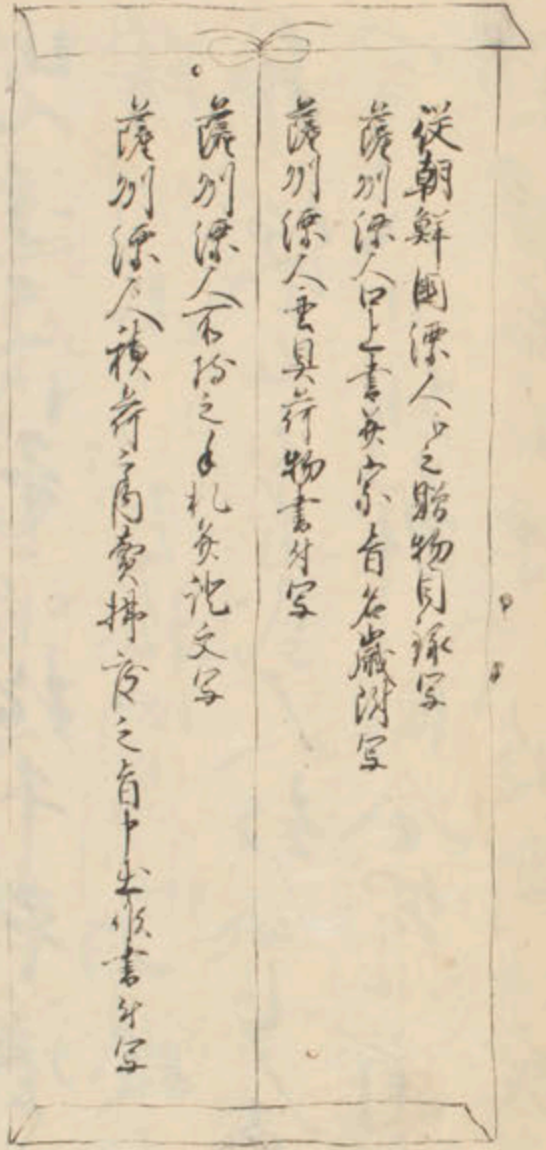
從別源人積貯商賣拂夜之旨中出之書對寫

書對寫

右何也書之書英宗有在歲附寫

右何也書之書英宗有在歲附寫

右何也書之書英宗有在歲附寫



外任官より中出之書對一袋之包中書

書之包之書一行之在之通

從別源人之從禮曹參議相副收書箱

相續收積貯之儀分任官より中出書對

右牙沙在府長治以七年七月紀伊  
右之江平書以國名在代以夜夜六  
持示以用人然合與生

先達及以平水松平孝後子以內  
薩州山門書松田瑞帆一艘子人乘  
外便乞之者武人如公七人乘組亦  
四月八日朝鮮國金羅道角南海  
沙深右深人收國以夜夜六松者

家乘之江平九月九日對府之  
子以味少子列錄之江平無  
江平之江平也子告以長治以七年  
使若相附與送以江平也  
以業內以江平中達以

九月廿八日

御名

右料紙六七年中切德上之色與治紙御名

右牙沙以江平也夜夜六松者



敵樣御狀之... 仲也... 薩列山川... 一被... 仲... 通... 知也

心手致... 啓云

其御許極... 薩列山川... 一被... 仲... 通... 知也

之... 後

公義... 送對馬... 及... 御... 非... 送...

九月十九日... 名... 得... 意... 若... 源人

九月九日... 對列... 送... 者... 身... 先... 取... 每... 送

對馬... 使者... 相... 副... 長... 送... 以... 送... 送

與... 右... 系... 派... 以... 邦... 札... 送... 用... 青... 旗... 上... 送

其... 御... 許... 極... 送... 對... 馬... 書... 出... 送

為... 御... 許... 極... 送... 對... 馬... 書... 出... 送

中... 鐵... 右... 分... 文... 者... 及... 以... 掛... 合... 意... 送... 送

以... 御... 許... 極... 送... 對... 馬... 書... 出... 送

十一月廿八日

行... 中... 進...  
長... 及... 其... 出... 其... 身... 所... 以... 其... 心... 也...  
中... 進... 也...

葉山伸太史

種子清次郎

薩州深人白上書并宗旨名歲附寫

次忍口上覺

我儀松平豊後守願公いぬ吉北郡山川  
拾伍端帆康免丸居船頭河野金助沖重  
伊依浦休在馬水主大子人棄去未年三月  
琉球國に為運貨積此所被比より便乞  
為人棄却新物等積入歸別と志當年  
三月廿九日琉球國出帆仕候と雨東風漁  
吹之洋中漂居四月八日行國と云々

山下。白。乘舟。水。支。風。雨。漲。舟。之。行。浦。年。有。貴。  
不。如。公。浦。入。江。公。浦。人。小。船。乘。船。之。乘。初。心。  
朝鮮。國。之。中。儀。兼。舟。等。入。水。如。舟。深。看。  
沙。日。より。水。木。斜。米。莫。榮。等。進。之。相。共。被。受。  
枚。抱。之。成。言。江。公。舟。舟。水。支。より。江。之。漕。也。  
四月。廿。日。自。多。太。浦。之。中。不。也。也。船。往。之。也。  
對。馬。守。樣。沙。波。人。極。方。也。成。江。報。深。流。之。次。舟。也。  
之。遊。由。予。諸。事。以。送。之。舟。舟。其。後。半。岩。浦。也。  
中。不。也。也。船。往。之。也。沙。波。人。極。方。也。附。之。也。

万。端。之。入。會。入。用。之。品。之。等。之。成。下。難。有。忠。心。  
其。後。館。守。極。之。成。江。報。深。流。之。次。舟。也。  
昨。上。先。月。廿。日。曾。船。行。物。以。改。之。舟。舟。其。後。  
朝鮮。人。之。舟。之。極。部。之。往。之。舟。舟。其。後。  
本。綿。之。足。先。版。米。用。白。米。小。之。相。共。示。  
之。舟。舟。其。後。日。上。之。船。之。舟。舟。其。後。朝鮮。國。  
出。帆。舟。日。對。別。依。須。未。所。関。不。也。着。也。  
以。改。之。舟。舟。其。後。日。上。之。船。之。舟。舟。其。後。  
成。附。之。舟。舟。其。後。日。上。之。船。之。舟。舟。其。後。

船中百物... 水木魚菜等... 此處... 心... 此... 此...

一 漂流之別類... 此... 此... 此...

一 武意令認識... 此... 此... 此...

不持住... 此... 此... 此...

一 朝鮮人... 此... 此... 此...

一 積貯物... 此... 此... 此...

一 宗旨... 此... 此... 此...

一 漂流之刻積音も子拾おきも仕成るも遊  
以尋水得去に振之儀を以て成

一 船具之内損下者至之式も遊以尋院  
漂流仕に預之能風も守徳も亦も  
損中水外も其具換下者も以て成

一 雲中も為人も至之式も遊以尋以成  
商人也ハ以て成

一 彼來切も之儀も遊以尋茂州出帆之節去  
不持仕居水も琉球居込之辺人日初渡我  
出帆以音國許書下も之儀送瑞州之長也  
其切も之儀引合も通水事も只今も不持  
仕居中も之儀不持仕居別朝鮮も之儀  
少波之極も其出也中成

一 水更之也為候も札種も活も中も其儀不持  
仕居中も其出也中書分も不持仕居也候也

手札之世所行也貴之人持之相附於法中  
 幸有為儀之人為死法法為儀之為新  
 以殘法居作問手札不持法中  
 不持法居作問手札不持法中  
 天出之意中作

一 朝鮮 之方之沙致之極之  
 若若手札者之有遠之儀之  
 委細沙者中上之意作通松兵津事今名

休在馬平不即事 今名之在馬平相唱中作

- 一 真言宗 生薩州 年卒之歲 船以休在馬
- 一 禪宗 生回以 同廿九歲 水支和助
- 一 天台宗 生回以 同廿四歲 同法宗
- 一 法華宗 生回以 同三拾二歲 同三宗為
- 一 回宗 生回以 同四拾八歲 同助之即
- 一 真言宗 生回以 同四拾九歲 便乞傳為
- 一 禪宗 生回以 同之拾九歲 同幸為

右之通相遠之沙度非以上

九月十日

水支中

廣別山以世以

伊津浦

休在集

樋口 最茂 標  
哉 彦 為 標  
根下 貞 標

大浦 甚平 治 標

無沙改也

沙改人言中 標



薩州源人書具古物書外字

薩州源人書具古物書外字

九月十日

未中

薩州漂人書具奇物書分字

船

長拾貳寸  
幅貳寸貳分  
深四尺五寸

檣

長七尺

帆

柱長七尺

帆

帆

揮  
長羽

實繩 三房

木繩 四房

赤漆繩 三房

竹繩 貳房

手繩 貳房

頭破 四房

槽 五根

傳間 走股 長四寸

右器具

尺 筭 四百九拾五寸

星砂 鏡 六拾四根

俱小 枋 貳拾斤八

圓 莖 包 拾 萬

圓 拾 五 斤 八 拾 五 萬

背 令 貳 拾 萬

極 實 貳 拾 萬

登 莖 參 拾 萬

法 六 九

一 燒酒瓶之古

一 牛皮 四法

一 右積薪物之分

一 策四法 四計四入

一 為之 恥伸間不持之分

一 淚 志 朽

一 柳 菴 之

一 箱 之

一 掛 礎 志

一 鏡 武 西

一 古 計 之 度

一 平 包 志

一 珠 瑞 四

一 洞 沖 志 志

一 小 刀 志 志

一 細 之 道 具 志 通

一 洞 志 洗 志

同古新也

瓦小刀也

右垂以休在也

平包也

髮也

右水支和也

平包也

髮也

右水支法也

平包也

髮也

右水支之也

平包也

髮也

右水支也

髮也

髮也

髮也

鏡式西

右紋乞時象分

順頭走物

皮管走

髮管走

鏡式西

右紋乞時象分

右之通相遠至沙度非以上

九月十日

水支中

廣州山川書

任張浦

任張浦

桶口發新標

鐵 亮新標

根卜 貞標

大浦 志平治標

垂沙袋

沙袋人字標

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩州深人百持之在札英證文字

薩列源人石持之札并證文字

寛政十二年

種子清

申青白

町田長四郎

謙田清太郎

表 燒平

法華宗  
三拾六歳

物五郎

表

寛政十二年

山門町

申三月九日

忠切六郎  
美州秀治平



喜

燒平

禪宗

名子林宗子

拾貳歳

法象

表

寛政十二年

山川町

申十二月九日

忠切六郎平

兼判秀治平

喜

燒平

禪宗

名氏

拾七歳

和助

表

寛政十二年

山川濱町

申十二月九日

忠切六郎平

兼判秀治平

喜燒平 志言宗

古依園いより浦居村名

四拾七歳

松玄海

一柳菴

一壺式

一飯茶式計五升

右々私事去々年亡松小納在為相附

石下花中水委此長沖吾以松之海也  
便吾之石中亦有石長谷行幸津口通  
海先之石下之石上之石上之石上之  
成公之石上之石上之石上之石上之

未

七月

之松山納金日

幸石上平

其人元

右中出之石取系中。山行幸津口通海先

之石上平夜上之石上

七月朔日

其人壽清澄平

右同堂壽平安統平

其人田織岩平

御代官右

石附改換

數書

刻別以表於之相遠者之石通非以上

七月廿一日

沖水良部治代官

太田筑後平

山川誌

巻之

五

一柳菴

一壺

一版築式計

右私事之人、大山源之世、相此、  
飛、之、常、氣、相、吹、表、中、方、分、涉、河、之、  
涉、瀬、中、之、重、い、山、陰、と、い、得、と、表、中、に

中、水、更、寸、切、と、合、状、に、分、與、長、沖、垂、以、  
山川之松、気、清、垂、り、使、船、と、い、水、登、十、百、  
と、長、い、石、灯、卒、津、口、通、以、長、形、以、吹、  
治、身、と、下、方、と、上、方、と、い、終、等、と、版、重、表、  
作、と、い、下、方、と、上、方、と、い、終、等、と、版、重、表、

大山源之内

傳、表、平

六月

與人

右、中、出、之、版、築、形、と、い、灯、卒、と、い、通、

津口通沙手似此先之伴分下夜中

以上

未

六月廿九日

仲永良部清共人考

清澄下

右田定考

平安統下

右同共人

田織若下

所代官下

一歩改改柳

表書

刻別 表表於之相遠之之之通以上

未

七月朔日

仲永良部清共人考

太田筑兵衛下

山川記下

書改下

欠忍口上覺

礼年貳拾貳歲

法華宗

種子清溪田浦了  
平五郎

右之私事必良山川之令物也  
水之肉与冲水良初治也  
手札之版籍子治也  
以此文之作者不有也  
此亦之述之成令中  
七事相上以上

未  
五月

未  
平子部平

子治也

以改也

以書改也

右之通類出中  
平下官也

未  
三月

子治也  
時記文



算

- 一 建砂糖六拾四担
- 一 同拾壹
- 一 尺楚四百九拾五束

但七砂了事

右之通賣拂首ももはの海免  
 御下も減下も箱有下もはの  
 御以上預作以上

建砂糖六拾四担  
 同拾壹  
 尺楚四百九拾五束

九月十日

水支中

廣列山川

休在

船中改所

涉改人宿中

書翰寫



朝鮮國禮曹叅議宋

冕載

奉書

日本國對馬州太守拾遺平公

閣下

緬惟是辰

啓居清裕慰濼并切即接東萊府使馳報本

年四月初八日

貴國船壹隻漂來于南海縣彌助項前洋五月初三

日移到牛巖遣各官問情則漂人柴各俱是  
貴國薩摩州山川村居民興利次載持白米參  
石黑砂糖陸拾肆桶同拾壹壺鬱金貳拾石  
蜜油所作雜木實貳拾石棕櫚皮陸束熟麻  
拾束草席肆百玖拾伍束今三月二十九日  
自琉球離發將往于本州山川村纜出半洋

碎遇風雨漂蕩出沒至四月初八日來泊於  
南海縣彌助項因地方官出救人命船隻俱  
幸得全多日雷連今始回泊此處云云各人  
等處資給衣糧順付歸船仍此委告統希  
崇亮不備

壬申年五月 日

人平正良是日定開... 諸人... 儀...

禮曹參議宋冕載... 與... 儀...

等... 禮... 儀...

奏... 禮... 儀...

南... 禮... 儀...

禮... 儀...

儀... 禮... 儀...

從朝鮮國源人之贈物目錄

持覺

斜米貳石五斗

大口魚十七尾半

明太壹佰五尾

白蝦鹽一斗一升七合二勺五厘

鹽一斗一升七合二勺五厘

藿五斤十三兩二錢七分五厘

甘醬一斗七刀五合

真油三刀五合

右者自壬申四月初八日至五月初二日合

二十五日多大都數條

料米十石四斗七刀

大口魚七十七尾三條

明太四百六十六尾半

白蝦鹽五斗一刀七合四夕四里五忽

鹽五斗一刀七合四夕四里五忽

藿二十五斤十二兩二錢六分五厘

甘醬七斗七刀三合五夕

真油五刀四合七夕

右者自壬申五月初三日至八月二十四朝  
合一百十日一時牛岩都教条

壬申八月二十四日

訓導 玉汝 卞僉知

別差 曩伯 金主簿

料米陸斗叁刀

大口魚貳尾捌條

明太拾捌尾玖條

白蝦鹽貳刀壹合壹夕伍戶

鹽貳刀壹合一夕伍戶

甘藷壹斤柒支捌分玖厘伍分

甘將醬參刀壹合伍夕

真油陸合參夕

右四月二十三日夕時以二十七日夕時至

壬申四月二十五日

料米柒斗

大口魚參尾半

明太貳拾壹尾

白蛤鹽貳刀叁合肆夕伍里

鹽貳刀叁合肆夕伍里

藿壹斤貳兩陸錢伍分伍里



甘醬叁刀伍合

真油柒合

右四月二十八日朝時以五月初三日夕時

至

壬申四月二十八日

薩摩州漂民七名每名渡海粮米十斗式

衣資木一疋式

合米四石十斗

木七疋

壬申八月 日 東萊

拜禮

道由

右四月十八日朝時以五月初五日

木七五

合米四百十

米

新米

北魚二十尾

餅一罍

梨八塊

柿八塊

道味魚三尾

際

壬申八月二十四日

訓導  
別差

標

一黑砂糖拾塊

一牛皮肆結

一燒酒瓶叁箇

右參品今番薩摩州漂人書契中有闕字事

吾等誤失也是將有羝羊觸藩之患伏冀垂

照察以請通急迫事情於

貴邦若速蒙寬宥則踴躍無他仍

奉呈一書事

壬申八月十九日

訓導玉汝卞僉知

別差彙伯金主簿

館司 尊公

